

# 新課程説明会 保護者会

## 17/18期生

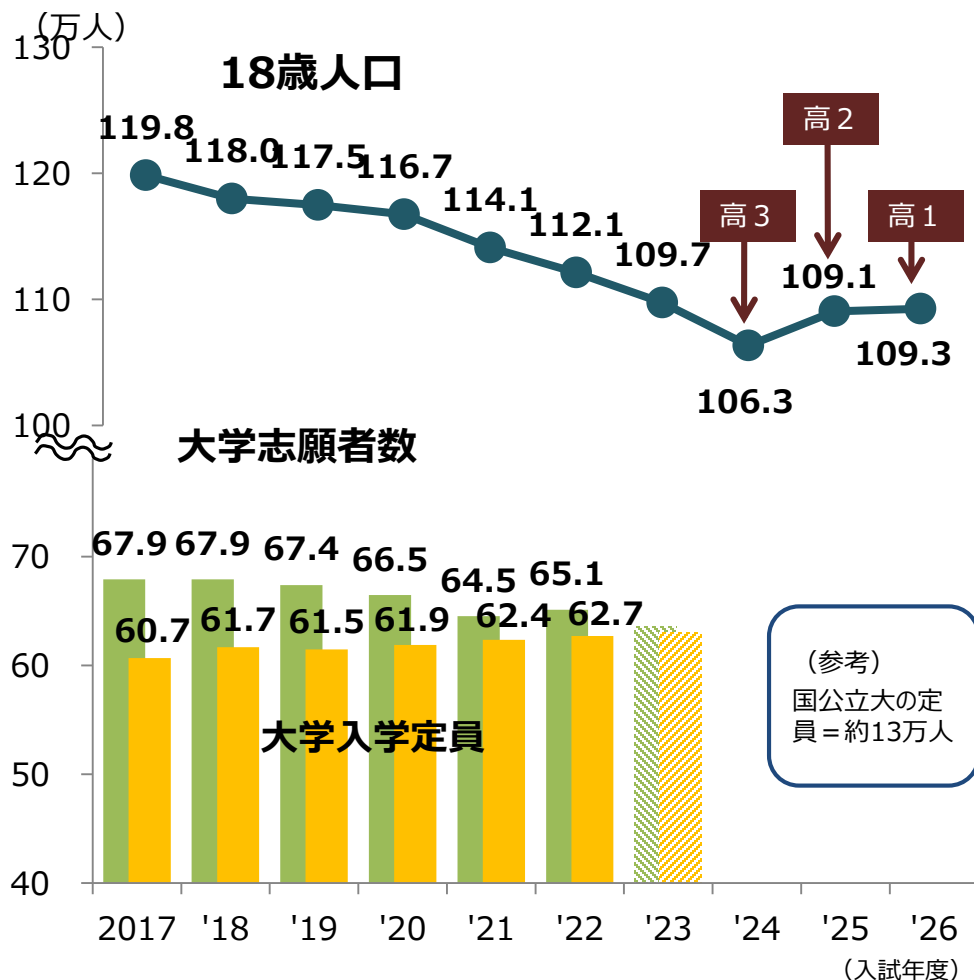
- 現在の入試の状況
- 新課程入試
  - 共通テスト
  - 個別試験
- 志望校合格に向けて

芦屋国際中等教育学校 進路

231006

## 2 受験人口減により大学志願者は減少期に

### ● 18歳人口・大学志願者数の推移



2023年度

18歳人口減少  
2017~23年で約10万人減

人口減に伴い  
大学志願者数は減少する見込み  
受験人口ピーク時(1992年度121.5万人)の約56%程度

一方で、大学入学定員は  
増加が続く

2024年度

18歳人口はここ数年で  
最大の減少幅 (-3.4万人)  
2017~24年で約13万人減

### 3 現役生中心の入試環境 – 既卒生割合は近年大きく低下

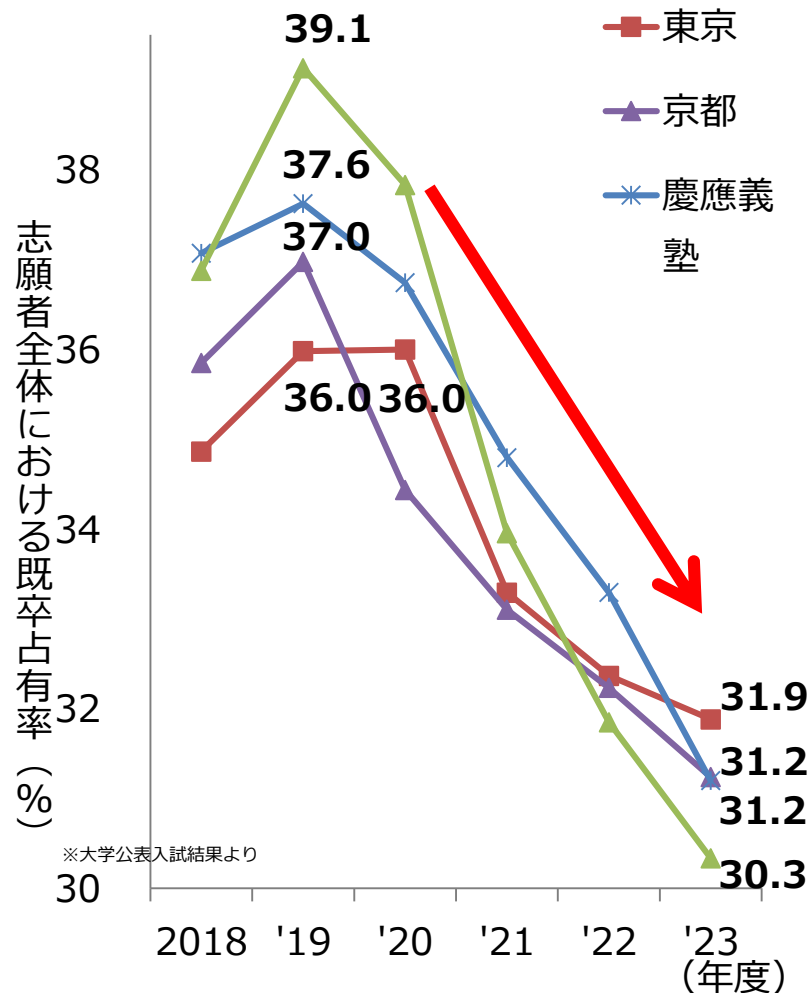
#### ● センター試験・共通テスト 既卒生割合の変化

年度	志願者数			占有率	
	全体	現役生	既卒生	現役生	既卒生
2018	582,671	473,570	103,948	81%	18%
'19	576,830	464,950	106,682	81%	18%
'20	557,699	452,235	100,376	81%	18%
'21	535,245	449,795	81,007	84%	15%
'22	530,367	449,369	76,785	85%	14%
'23	512,581	436,873	71,642	85%	14%

※大学入試センター資料より

- 直近6年のセンター試験・共通テスト志願者数の現卒割合をみると、2020年度まで現役生志願者の占有率は81%で推移してきた。しかし2021年度以降は既卒生志願者が大きく減少、2023年度の現役生占有率は85%まで上昇した。
- 難関大志願者の既卒生割合も近年低下している。国私  
の難関大における既卒生の割合は2019年度には3割台後半だったが、2023年度には3割台前半までダウンしている。

#### ● 難関大 既卒生志願者の割合の推移



## 4 共通テストの概況 – 平均点はアップ、少数科目受験者の減少目立つ

### ● 志願者数推移

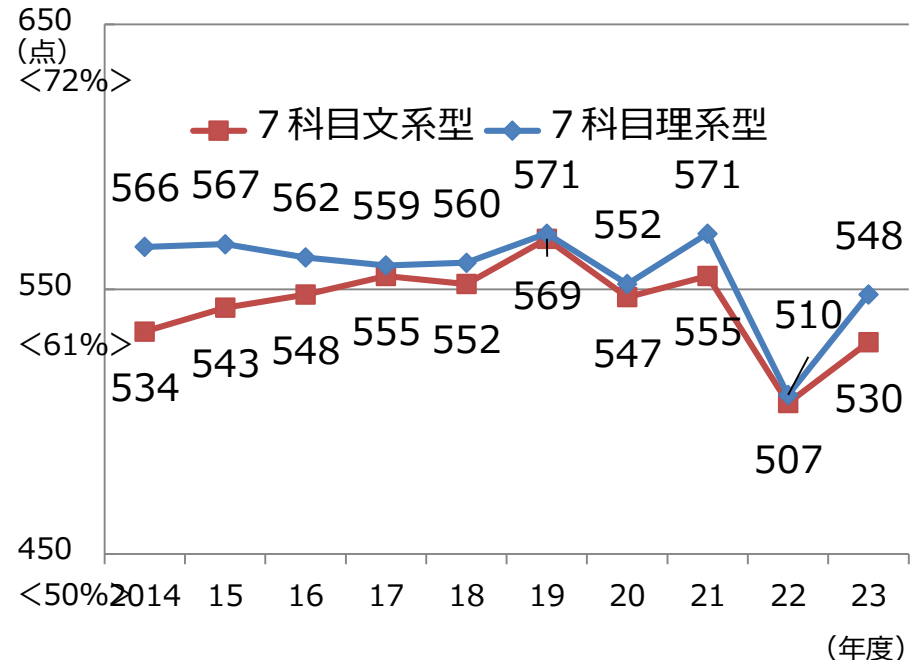
	2020	...	2022	2023	前年比 (23/22)	2020年比 (23/20)
志願者数	557,699	~	530,367	512,581	96.6%	91.9%
現役	452,235	~	449,369	436,873	97.2%	96.6%
既卒	100,376	~	76,785	71,642	93.3%	71.4%
高卒認定等	5,088	~	4,213	4,066	96.5%	79.9%

※大学入試センター資料より

### ● 受験者数推移

	2020	...	2022	2023	前年比 (23/22)	2020年比 (23/20)
受験者数	527,072	~	488,384	474,051	97.1%	89.9%
(受験率)	(94.5%)	~	(92.1%)	(92.5%)		
科目数別	7科目以上	~	280,024	276,075	98.6%	93.5%
	4-6科目	~	88,910	84,594	95.1%	88.2%
	3科目以下	~	119,450	113,382	94.9%	83.5%

### ● 7科目型平均点の推移



※河合塾推定

7科目文系型：英・数(2)・国・理(1)・地公(2) (900点満点)

7科目理系型：英・数(2)・国・理(2)・地公(1) (900点満点)

\* 2020年度まではセンター試験の数値で、英語は筆記+リスニングの250点を200点に換算して集計

を200点に換算して集計

\* 理科の基礎を付した科目は2科目で1科目とする

本年の受験者数を2020年度（センター試験時代）と比較すると、1割ほど減少している。とくに3科目以下の受験者数はマイナス16.5%と減少幅が大きく、私立大メインの受験生の共通テスト離れをうかがわせる。

## 5 共通テスト分析 全体概況 まとめ

- **思考力・判断力・表現力を一層重視した問題**
- **学習過程を意識した場面設定の問題**
- **複数情報を組み合わせて思考・判断させる問題**
- **大量の情報を素早く読み取り必要事項を抽出し、思考・判断させる問題**
- **開かれた知識の有無を問う問題**

### ■ 求められている力

- ・ 確かな知識
- ・ 複数の大量な情報に素早く対応する情報処理能力
- ・ ものごとの背景への知識や考察
- ・ 読解力
- ・ 問題処理能力・スピード
- ・ 教科（分野）横断的な知識・探究心  
→→→絶対的な知識＋知的探究心（なぜ？と問う力）

### 共通テストの失敗談

- ◎読み取る資料の増加、文章量の増加により時間が足りなくなった。
- ◎複数の資料の読み取りや場面把握を正しくできなかった。
- ◎リスニングにおいては1回読みの英文や誘導のない問題対策が必要だった。

## 6 本校の共通テスト平均点概況

教科	主な出題科目	配点	一般的な選択方法	共通テスト				共通テスト			
				2020年度平均点	2021年度平均点 (調整後)	2022年度平均点	2023年度平均点 得点調整値	12期生平均点	13期生平均点 (調整前)	14期生平均点	15期生平均点 得点調整値
国語	国語	200	全員	119.3	117.5	108.8	105.7	126.0	116.1	113.0	115.3
地理歴史 公民	世界史B	100	文系2科目理 系1科目	63.0	63.5	68.1	58.4	69.1	62.6	59.5	57.2
	日本史B			65.5	64.3	54.9	59.8	67.6	68.7	54.8	58.9
	地理B			66.4	60.1	61.2	60.5	74.7	55.6	63.0	62.6
	現代社会			57.3	58.4	63.1	59.5	81.0	47.3	68.7	61.7
	倫理			65.4	72.0	63.7	59.0	57.0	-	76.3	69.8
	政治経済			53.8	57.0	60.0	51.0	62.3	57.0	77.5	55.0
	倫理・経済			66.5	69.3	69.9	60.6	65.5	67.1	73.0	62.4
数学	数学Ⅰ・A	100	全員	51.9	57.7	40.3	55.7	55.5	58.1	37.5	62.0
	数学Ⅱ・B	100		49.0	59.9	45.9	61.5	53.7	60.0	44.0	63.6
理科	物理	100	文系1科目理 系2科目	60.7	62.4	62.0	63.4	67.6	43.0	58.7	71.8
	化学	100		54.8	57.6	49.5	54.0	67.6	48.3	46.7	54.8
	生物	100		57.6	72.7	50.1	48.5	61.0	74.9	54.2	49.1
	地学	100		39.5	46.7	54.8	49.9	-	71.0	-	-
理科基礎	物理基礎	50	2科目選択 (100点)	33.3	37.6	31.5	28.2	-	-	-	-
	化学基礎	50		28.2	24.7	29.1	29.4	34.2	28.4	32.0	35.2
	生物基礎	50		32.1	29.2	25.2	24.7	32.8	29.4	28.0	31.2
	地学基礎	50		27.0	33.5	36.6	35.0	31.0	36.5	25.0	47.0
外国語	英語筆記	100	全員	116.1	58.5	63.3	53.8	150.9	76.5	78.7	74.0
	リスニング	100		28.8	56.2	60.6	62.4	40.8	76.6	78.8	78.8

英語  
配点変更  
100/100  
網掛:  
得点調整後

得点調整値

英語  
配点変更  
100/100  
網掛:  
得点調整前

得点調整値

# 7 15期受験状況 大学短大

**大学進路決定者 総合型 (AO) 8人**  
**学校選抜 (推薦) 11人 一般35人**  
**指定校推薦応募なし**

**可否内訳 総合型 : 国公立 1/2 私大 7/16**  
**学校推薦 : 国公立 3/7 私大 41/91**  
**一般入試 : 国公立 23/31 私大 105/259**

- 国公立大受験合格増加 現役27/40合格 (一般23/31)  
 全国展開継続中!
- 科目を早々に絞った者 →→→ 私大一般入試苦戦
- 強みのある科目が1科目だけの者は苦戦  
 →→→ せっかく持っている英語の資格などを活かさない
- 一般前期合格率 44% 65○84×
- 前期共通テスト利用・併用合格率 30% 28○65× 例年45%程
- 中後期合格率 71% 12○5×
- 最後まで諦めずに粘った人……同志社・近大・甲南など逆転合格  
 (14期実績)
- 後期国公立受験者の減少 (1○2×) 前期決定多し

○全国的には、昨年に続き今年も国公立は狙い目だった!

\* 国公立大では、共通テストまでに、受験予定校を詰めることが出来なかった人が多かった

進路決定先		75人 75人中					
区	分	合計	男	女	総合選抜	学校選抜	一般入試
国公立大学		25	7	18	1	3	21
私立大学		29	9	20	7	8	14
短期大学		0	0	0	0	0	0
専門学校		4	0	4	3	1	0
大学校		0	0	0			
海外進学		5	1	4			
就職		1	1	0			
浪人		6	3	3			
その他【海外進学準備含】		5	1	4			
未定		0	0	0			

# 8 memo

---



## 9 国公立大入試のトピックー 合格率の上昇

各学部系統の合格率を、受験者の全統模試時の成績層別でみると、「文・人文」学系は3年前と比較してほとんどの成績層で合格率がアップしている。「法・経済」「教育」学系は偏差値60未満、「工学系」は偏差値50未満の成績層で合格率のアップが目立つ。

### 成績層別 合格率の推移（2020→2023年度）

#### ● 文・人文学系

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	65%	71%	(+6%)
60～65未満	51%	56%	(+5%)
55～60未満	42%	51%	(+9%)
50～55未満	33%	43%	(+10%)
45～50未満	21%	31%	(+10%)
45未満	10%	17%	(+7%)

#### ● 法・経済学系

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	64%	65%	(+1%)
60～65未満	53%	51%	(-2%)
55～60未満	48%	49%	(+1%)
50～55未満	39%	45%	(+6%)
45～50未満	30%	39%	(+9%)
45未満	19%	27%	(+8%)

#### ● 教育学系

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	84%	82%	(-2%)
60～65未満	83%	80%	(-3%)
55～60未満	73%	77%	(+4%)
50～55未満	58%	67%	(+9%)
45～50未満	35%	47%	(+12%)
45未満	17%	26%	(+9%)

#### ● 工学系

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	66%	67%	(+1%)
60～65未満	57%	57%	(±0%)
55～60未満	50%	50%	(±0%)
50～55未満	48%	48%	(±0%)
45～50未満	42%	51%	(+9%)
45未満	18%	33%	(+15%)

# 10 国公立大：とりわけ中四国にも目を向けよう



中四国 国公立大

GTZ	大学名
B1	県立広島, 広島市立, 福山市立, 尾道市立, 下関市立, 鳴門教育, 山口東京理科, 高知, 高知県立, 琉球, 沖縄県立看護, 香川県立保健医療, 愛媛県立医療技術
58/ 54	
B2	新見公立, 高知工科, 公立鳥取環境, 鞆啓, 山口県立, 島根県立,
54/ 50	
B3	名桜, 周南公立

# 11 西日本の国公立大 実質倍率1倍台の大学も多い

大学	学部	日程	募集人員	実質倍率			共通テスト90%	記述模試集計
				'23年度	'22年度	'21年度	合格者平均	合格者平均SS
							得点率	'23年度
京都教育大	教育	前	169	1.8	1.6	2.0	65.3%	53.5
福知山公立大	地域経営	前	55	1.5	2.5	1.4	58.9%	46.8
兵庫県立大	工	前	120	1.8	2.1	3.1	61.1%	50.1
奈良教育大	教育	前	156	1.8	2.1	2.4	60.3%	51.0
奈良女子大	理	前	91	1.7	2.1	1.2	65.9%	56.8
和歌山大	教育	前	90	1.9	1.9	1.9	62.3%	51.5
鳥取大	地域	前	102	1.5	2.2	1.8	61.7%	50.5
鳥取大	工	前	294	1.3	2.2	2.5	55.1%	46.1
島根大	法文	前	76	1.7	1.7	2.7	64.8%	53.8
島根大	教育	前	75	1.7	3.1	1.6	58.6%	49.5
島根大	総合理工	前	181	1.3	1.4	1.8	57.2%	47.3
島根大	生物資源	前	106	1.0	2.1	2.2	53.6%	47.5
島根県立大	国際関係	前	50	1.1	1.9	1.3	58.0%	46.4
島根県立大	人間文化	前	67	1.2	3.5	2.3	58.0%	47.3
岡山大	教育	前	148	1.7	1.3	1.7	69.4%	57.7
岡山大	理	前	116	1.9	2.1	2.0	68.0%	56.2
岡山大	工	前	415	1.8	1.6	1.8	69.9%	56.5
岡山県立大	保健福祉	前	79	1.7	2.3	2.2	63.7%	52.5

大学	学部	日程	募集人員	実質倍率			共通テスト90%	記述模試集計
				'23年度	'22年度	'21年度	合格者平均	合格者平均SS
							得点率	'23年度
広島大	教育	前	319	1.7	1.5	1.6	71.2%	60.1
広島大	総合科学	前	110	1.7	2.1	2.1	72.0%	58.9
広島大	情報科学	前	90	1.7	2.3	2.5	72.0%	56.7
広島大	理	前	145	1.8	1.8	1.9	71.0%	59.1
県立広島大	地域創生	前	88	1.9	2.2	2.5	66.4%	52.3
県立広島大	生物資源	前	60	1.5	1.3	2.1	50.3%	44.1
広島市立大	情報科学	前	120	1.8	2.7	3.3	61.2%	46.9
山口大	理	前	130	1.8	2.9	2.4	60.6%	50.2
山口大	農	前	64	1.8	1.4	1.5	60.2%	52.6
山口県立大	国際文化	前	50	1.4	1.9	2.3	63.3%	49.3
徳島大	理工	前	315	1.6	2.2	1.8	59.6%	48.5
鳴門教育大	学校教育	前	67	1.4	2.5	2.3	56.7%	47.3
香川大	教育	前	91	1.7	1.7	1.8	63.6%	52.6
香川大	創造工	前	183	1.5	2.7	1.5	61.3%	49.5
愛媛大	教育	前	103	1.3	1.8	2.0	61.4%	52.4
愛媛大	理	前	160	1.6	1.5	1.5	61.2%	50.9
愛媛大	工	前	321	1.5	1.4	1.9	60.8%	50.0
愛媛大	農	前	93	1.6	1.7	1.3	60.7%	51.8

# 12 西日本の国公立大 実質倍率1倍台の大学も多い

大学	学部	日程	募集人員	実質倍率			共通テスト900名	記述模試集計
				'23年度	'22年度	'21年度	合格者平均	合格者平均SS
							得点率	'23年度
愛媛医療技術大	保健科学	前	57	1.9	2.1	1.8	58.0%	50.0
高知大	人文社会	前	167	1.6	1.6	2.3	61.1%	50.5
高知大	教育	前	78	1.3	1.4	1.8	53.8%	47.6
高知大	理工	前	146	1.7	3.1	1.4	55.9%	47.7
高知大	農林海洋	前	121	1.8	2.2	1.6	56.4%	47.7
高知工科大	経済マネ	前	75	1.5	3.3	3.2	58.8%	47.9
九州工大	工	前	225	1.8	1.9	1.9	68.2%	54.1
福岡教育大	教育	前	386	1.9	1.7	1.8	58.9%	49.2
北九州市立大	文	前	110	1.6	1.8	2.5	66.9%	51.8
北九州市立大	外国語	前	165	1.7	2.0	1.8	68.8%	53.4
北九州市立大	経済	前	124	1.9	2.4	2.1	64.6%	49.3
北九州市立大	国際環境	前	146	1.9	2.5	2.5	58.1%	47.9
福岡女子大	国際文理	前	129	1.9	2.2	1.9	66.6%	55.9
佐賀大	経済	前	135	1.8	2.1	1.9	62.9%	50.7
長崎大	多文化社	前	75	1.0	1.5	1.4	73.1%	57.7
長崎大	教育	前	126	1.6	1.9	2.2	60.4%	51.7
長崎大	環境科学	前	80	1.6	1.7	1.4	61.9%	51.8
長崎県立大	地域創造	前	125	1.7	2.6	2.1	52.9%	46.2

大学	学部	日程	募集人員	実質倍率			共通テスト900名	記述模試集計
				'23年度	'22年度	'21年度	合格者平均	合格者平均SS
							得点率	'23年度
熊本大	文	前	117	1.8	2.0	1.9	69.4%	58.7
熊本大	教育	前	161	1.9	1.6	1.8	65.0%	54.9
熊本大	工	前	335	1.5	1.6	1.6	66.6%	54.3
熊本県立大	文	前	58	1.9	2.8	1.9	63.6%	51.0
熊本県立大	環境共生	前	63	1.7	2.9	2.2	55.4%	48.2
大分大	経済	前	120	1.5	1.7	1.9	60.9%	52.0
大分大	教育	前	75	1.4	2.2	1.5	56.8%	49.3
大分大	理工	前	244	1.9	3.2	2.2	57.6%	47.2
大分大	福祉健康	前	72	1.8	1.9	2.0	60.9%	51.4
鹿児島大	法文	前	280	1.9	2.0	2.1	63.3%	54.2
鹿児島大	教育	前	124	1.7	1.9	2.4	58.8%	50.4
鹿児島大	工	前	307	1.6	1.7	2.2	60.0%	48.9
鹿児島大	農	前	154	1.5	1.9	1.2	57.7%	50.0
鹿児島大	水産	前	67	1.9	1.9	2.1	56.2%	49.1
鹿屋体育大	体育	前	85	1.8	2.3	2.0	61.7%	45.4
琉球大	教育	前	101	1.9	2.1	2.6	58.0%	46.9
琉球大	国際地域	前	180	1.6	2.2	2.2	62.8%	49.9
琉球大	理	前	141	1.7	1.7	1.9	55.1%	45.3
名桜大	国際	前	155	1.1	-	-	52.0%	44.5

# 13 後期試験の欠席率

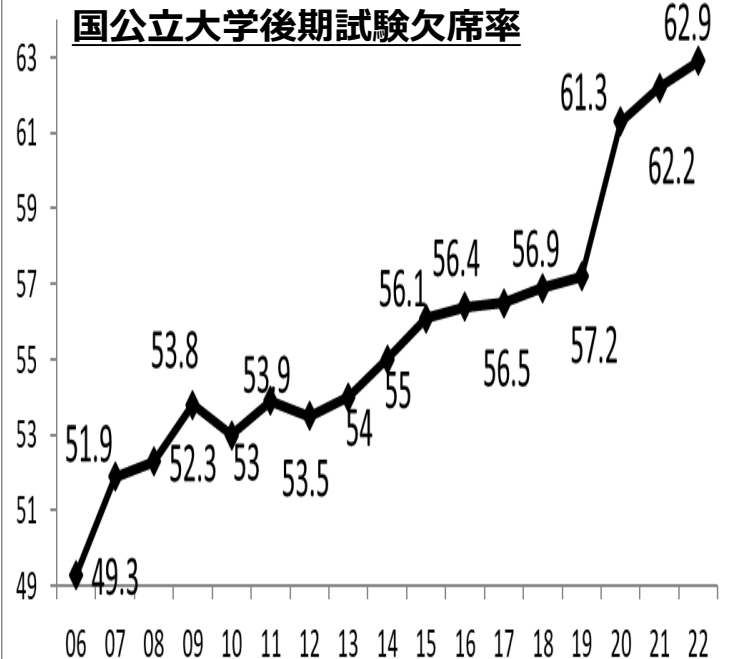
## 【後期日程1日目1時限目の受験状況】

	19	20	21	22	2023年度			
	欠席率	欠席率	欠席率	欠席率	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
国立計	57.3%	61.1%	62.2%	62.6%	113,027	42,127	70,900	62.7%
公立計	56.9%	61.8%	62.2%	63.8%	32,114	11,300	20,814	64.8%
国公立計	57.2%	61.3%	62.2%	62.9%	145,141	53,427	91,714	63.2%

## 【大学別(近畿地区)】

	19	20	21	22	2023年度			
	欠席率	欠席率	欠席率	欠席率	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
京都大	77.1%	68.7%	81.9%	83.1%	304	48	256	84.2%
福知山公立大	62.5%	73.7%	69.3%	77.1%	260	64	196	75.4%
神戸市外国語大	64.6%	69.8%	71.0%	71.2%	797	206	591	74.2%
和歌山県立医科大	61.4%	60.6%	46.4%	73.1%	131	44	87	66.4%
奈良県立医科大	51.1%	59.2%	63.3%	73.0%	743	256	487	65.5%
奈良教育大	56.6%	66.7%	59.3%	61.7%	810	298	512	63.2%
兵庫県立大	56.6%	59.6%	58.3%	62.0%	1,609	603	1,006	62.5%
京都教育大	47.3%	66.9%	65.4%	67.8%	242	91	151	62.4%
滋賀大	52.1%	58.9%	61.0%	60.8%	2,249	852	1,397	62.1%
滋賀県立大	57.5%	62.5%	61.8%	60.7%	1,089	413	676	62.1%
京都府立大	52.1%	50.9%	56.1%	54.9%	500	196	304	60.8%
奈良女子大	56.2%	58.1%	62.7%	56.8%	988	407	581	58.8%
神戸大	57.6%	60.8%	60.1%	57.1%	4,018	1,667	2,351	58.5%
大阪教育大	51.2%	55.9%	55.2%	59.8%	1,305	549	756	57.9%
和歌山大	49.0%	52.8%	56.3%	56.0%	923	395	528	57.2%
大阪公立大	-	-	-	52.8%	2,071	963	1,108	53.5%
神戸市看護大	55.3%	63.4%	68.9%	76.0%	159	75	84	52.8%
京都工芸繊維大	48.3%	50.2%	47.5%	45.6%	878	463	415	47.3%
兵庫教育大	61.9%	66.6%	60.4%	68.3%	104	62	42	40.4%
京都市立芸術大	8.2%	6.0%	3.0%	4.4%	111	103	8	7.2%

\* 大阪公立大の22年度新設のため、19年度～21年度までの数値は「-」としている



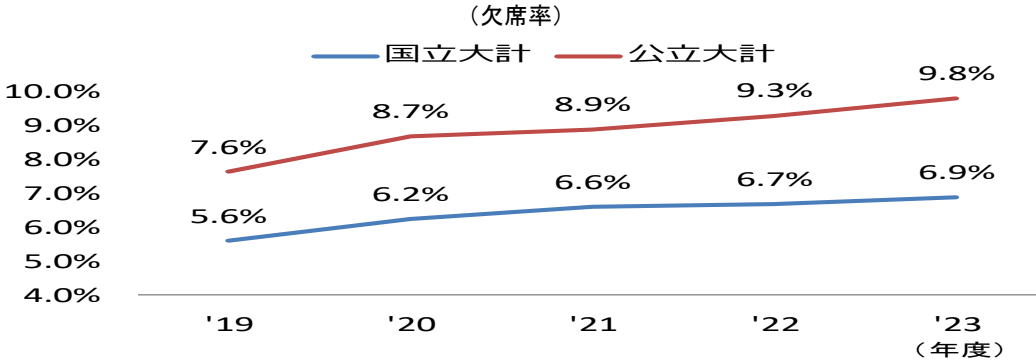
■ 2023年度入試では、国立大・公立大ともに欠席率がさらに上昇。最後まで挑戦した受験生が合格を勝ち取っているケースが年々、増えている。

後期欠席の理由としては・・・

- ①前期や共通テストあり推薦で合格
  - ②私立大合格などで未受験
  - ③不本意出願
- などが考えられる。

# 14 前期試験の欠席率

## ■国公立大(前期) 欠席率推移



※文部科学省資料より

- ▶ 前期試験もわずかだが、欠席率が上がり過去最高を更新した（国公立大 平均欠席率：7.5%）。
- ▶ 欠席の主な理由は「①国公立大推薦入試（共通テスト試験あり）で合格」、「②私立大合格による未受験」などが挙げられる。

## ■国公立大(前期) 1日目第1時限目の受験状況(文部科学省資料より)

	2022年度			
	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
国公立計	217,164	201,437	15,727	7.2%

	2023年度			
	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
国公立計	214,421	198,251	16,170	7.5%

### <2022年度 欠席率の高い大学(近畿地区)>

大学名	2022年度			
	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
1 福知山公立大	502	435	67	13.3%
2 和歌山県立医科大	632	553	79	12.5%
3 滋賀医科大	388	340	48	12.4%
4 滋賀県立大	1,094	962	132	12.1%
5 大阪教育大	1,308	1,159	149	11.4%
6 奈良県立大	244	218	26	10.7%
7 和歌山大	1,272	1,137	135	10.6%
8 奈良女子大	820	741	79	9.6%
9 奈良県立医科大	254	232	22	8.7%
10 兵庫県立大	1,698	1,559	139	8.2%

### <2023年度 欠席率の高い大学(近畿地区)>

大学名	2023年度			
	1日目受験対象者数	出席者数	欠席者数	欠席率
1 奈良県立大	169	144	25	14.8%
2 和歌山県立医科大	511	437	74	14.5%
3 和歌山大	788	684	104	13.2%
4 福知山公立大	321	284	37	11.5%
5 滋賀県立大	1,061	941	120	11.3%
6 奈良県立医科大	353	315	38	10.8%
7 奈良女子大	703	634	69	9.8%
8 大阪教育大	1,316	1,191	125	9.5%
9 京都工芸繊維大	1,150	1,048	102	8.9%
10 奈良教育大	325	299	26	8.0%

# 15 私立大入試のトピックー 成績層別合格率の変化（首都圏）

各大学グループの合格率を、受験者の全統模試時の成績層別で見ると、3年前と比較してすべての成績層で合格率がアップしている。早慶上理は偏差値60以上の成績層で、他の3グループは偏差値60未満の成績層で上昇率が高い。

## 成績層別 合格率の推移（2020→2023年度）

### ● 早慶上理

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	53%	61%	(+8%)
60～65未満	23%	30%	(+7%)
55～60未満	10%	15%	(+5%)
50～55未満	3%	7%	(+4%)
45～50未満	3%	4%	(+1%)
45未満	2%	4%	(+2%)

### ● 成成明國武

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	78%	85%	(+7%)
60～65未満	67%	82%	(+15%)
55～60未満	41%	63%	(+22%)
50～55未満	19%	38%	(+19%)
45～50未満	6%	18%	(+12%)
45未満	2%	7%	(+5%)

### ● MARCH

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	72%	77%	(+5%)
60～65未満	49%	60%	(+11%)
55～60未満	23%	36%	(+13%)
50～55未満	7%	16%	(+9%)
45～50未満	2%	5%	(+3%)
45未満	1%	2%	(+1%)

### ● 日東駒専

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	82%	83%	(+1%)
60～65未満	77%	86%	(+9%)
55～60未満	59%	76%	(+17%)
50～55未満	39%	60%	(+21%)
45～50未満	23%	40%	(+17%)
45未満	14%	23%	(+9%)

※河合塾入試結果調査データより

※早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科  
成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵

MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政  
日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修

## 16 私立大入試のトピックー成績層別合格率の変化（近畿圏）

近畿地区では首都圏のグループ以上に合格率のアップが目立つ。とくに**ボーダー近辺の成績層で合格率が上昇**している。

### 成績層別 合格率の推移（2020→2023年度）

#### ● 関関同立

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	80%	86%	(+6%)
60～65未満	63%	73%	(+10%)
55～60未満	41%	56%	(+15%)
50～55未満	19%	36%	(+17%)
45～50未満	6%	16%	(+10%)
45未満	2%	5%	(+3%)

#### ● 摂神追桃

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	67%	67%	(±0%)
60～65未満	96%	85%	(-11%)
55～60未満	89%	89%	(±0%)
50～55未満	79%	88%	(+9%)
45～50未満	57%	77%	(+20%)
45未満	27%	54%	(+27%)

#### ● 産近甲龍

受験者の 成績層	合格率		
	2020	2023	(23-20)
65以上	67%	71%	(+4%)
60～65未満	75%	71%	(-4%)
55～60未満	67%	71%	(+4%)
50～55未満	46%	59%	(+13%)
45～50未満	27%	42%	(+15%)
45未満	11%	24%	(+13%)

※河合塾入試結果調査データより

※関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館

産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

摂神追桃：摂南・神戸学院・追手門学院・桃山学院



# 17 私立大学入試の実際

関西学院大学経済学部の場合

\* 白抜きボーダーライン 9月マク模試

関西学院大・経済の偏差値帯別合格率

年度	2023			2022			2021			2020			2019			
	偏差値	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者
79			1													
78													1			
77		100	2		100	2		100			50			100		
76			2			2										1
75			1			1										1
74			1			4	2		4			1	2			1
73			3			4			3			8	2			6
72		92	7		95	6		97	15		79	6		92		7
71			9	3		13			14			11	2		13	2
70			13			13			20	2		12	4		7	1
69			14	4		19	2		21	1		20	9		15	13
68			20	1		24	2		27	8		25	14		27	12
67		94	18		90	24	1	76	28	7	61	15	13	55	22	18
66			36			24	3		28	9		24	14		27	22
65			35	3		38	6		21	14		28	21		18	26
64			22	9		24	6		24	9		30	21		31	45
63			37	7		32	9		32	21		21	36		25	40
62		71	29	12	74	43	11	63	27	17	44	29	26	32	16	31
61			34	14		30	12		27	14		13	26		14	46
60			23	17		30	17		21	17		15	31		11	42
59			29	18		34	12		28	24		9	45		13	45
58			46	24		29	17		21	29		12	36		8	65
57		62	45	20	61	31	16	40	13	20	18	7	33	14	9	49
56			33	21		20	23		10	22		9	30		4	24
55			34	33		13	13		12	31		2	35		2	35
54			45	47		28	23		10	20		1	24		1	31
53		41	33	41	40	13	23	22	5	24	4	2	20	7	6	29
52			21	41		8	20		6	29		1	23			23
51			18	24		10	23		6	18		1	23			9
50			19	39		11	17		4	20			23		1	13

# 18 関西難関私大の実際 易化傾向

	年度	同志社大 経済			立命館大 経済			関西大 経済			関西学院大 経済		
		偏差値	2022		2022		2022		2022		2022		
			合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者	不合格者	合格率	合格者
S2	74	79	27	8	85	2		81	2	2	92	1	
	73		29	10		6	1		2			3	
	72		48	12		4			4	1		7	
	71		40	9		9	3		4	1		9	3
S3	70	59	47	11	84	8	1	61	5		94	13	
	69		59	25		10	1		5	2		14	4
	68		41	28		11	2		8	5		20	1
	67		48	44		30	4		14	6		18	
A1	66	42	52	40	67	28	5	51	21	12	71	36	
	65		53	36		27	8		11	12		35	3
	64		46	38		31	6		18	15		22	9
A2	63	27	68	71	49	32	10	36	24	19	62	37	7
	62		26	53		36	20		25	24		29	12
	61		34	56		46	33		36	33		34	14
A3	60	10	29	65	32	43	22	19	30	35	41	23	17
	59		26	72		44	40		34	45		29	18
	58		23	53		35	29		34	37		46	24
B1	57	32	29	78	49	52	40	36	20	56	62	45	20
	56		23	62		26	36		25	49		33	21
	55		15	52		33	51		21	50		34	33
B2	54	10	13	58	32	32	43	19	18	68	41	45	47
	53		4	58		16	47		10	61		33	41
	52		4	42		21	38		12	65		21	41
	51		3	31		16	32		15	59		18	24
	50		1	35		15	48		15	52		19	39

\* 2021年第1回へ ネット駿台共通テスト模試(9月マーク模試) 受験者の合否度数分布より

## 19 現在の入試状況 まとめ

### ☆ 競争緩和・易化傾向

- 受験人口減少・現役中心
  - 国公立大学・私立大学ともに、志願者が減少傾向
  - 志願者数減少 → → 合格者数増加 → → 競争緩和  
→ → 難易度低下
  - チャンス拡大
- \* 特に私立大(難関大含む)で顕著**

#### ◇ 国公立大学

- ・ 倍率低下(難易度低下)
- ・ 後期試験欠席率の増加  
→ → → 後期試験まで粘ることが大事

#### ◇ 私立大学

難関大を含め、入りやすい状況が続く

20 memo

---

# 21 共通テスト 出願教科・科目、ポイント、試験時間、配点など

教科	出題科目	経過措置 科目設定	ポイント	試験時間(配点)	サンプル (R3.3)	試作問題 (R4.11)
国語	国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間80分→90分</li> <li>・大問が4→5</li> <li>・近代以降の文章の大問が2→3に増加</li> <li>・配点が近代以降の文章(110点:45・45・20)、古文漢文(各45点)へ</li> </ul>	90分(200点)		○
地理歴史 公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理総合、歴史総合、公共</li> <li>・地理総合、地理探究</li> <li>・歴史総合、日本史探究</li> <li>・歴史総合、世界史探究</li> <li>・公共、倫理</li> <li>・公共、政治経済</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6科目から最大2科目選択が可能(組合せに制約あり)</li> <li>・「地理総合、歴史総合、公共」は出題範囲から2つを選択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1科目選択 60分(100点)</li> <li>・2科目選択 130分(うち解答時間120分)(200点)</li> </ul>	○	○
数学	① ・数学Ⅰ,A ・数学Ⅰ	○	・数学ⅠAが全問必答に	70分(100点)		○
	② ・数学Ⅱ,B,C	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出題範囲に数学Cを追加</li> <li>・必答問題が2→3に増加</li> <li>・選択問題解答数が2→3に増加 (B:数列・統計的な推測 C:ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)</li> <li>・試験時間が60分→70分に</li> </ul>	70分(100点)		○
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎</li> <li>・物理・化学・生物・地学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎4科目を1科目として扱い、出題範囲から2つを選択</li> <li>・1つの時間帯で、最大2科目受験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1科目選択 60分(100点)</li> <li>・2科目選択 130分(うち解答時間120分)(200点)</li> </ul>		○
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語・ドイツ語・フランス語</li> <li>・中国語・韓国語</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディング 80分(100点)</li> <li>・リスニング 60分(うち解答時間30分)(配点100点)</li> </ul>		○
情報	情報Ⅰ	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科新設</li> <li>・試験時間は60分</li> </ul>	60分(100点)	○	○

## 22 共通テスト 時間割ほか

2024年度

1 日目		2 日目	
2科目受験 9:30~11:40	地理歴史 公民	9:30~10:30	理科①
1科目受験 10:40~11:40			
13:00~14:20	国語	11:20~12:30	数学①
15:10~16:30	外国語	13:50~14:50	数学②
17:10~18:10	リスニング	2科目受験	理科②
		15:40~17:50	
		1科目受験	
		16:50~17:50	

2025年度

1 日目		2 日目	
2科目受験 9:30~11:40	地理歴史 公民	9:30~11:40	理科
1科目受験 10:40~11:40			
13:00~14:30	国語	13:00~14:10	数学①
15:20~16:40	外国語	15:00~16:10	数学②
17:20~18:20	リスニング	17:00~18:00	情報

イタリック体：変更分

- 教科「情報」が出題教科に追加（試験時間は60分、配点は100点）
- 国語は「近代以降の文章」に大問が1つ追加、試験時間も10分増の90分に  
※分野別の配点は近代以降の文章110点、古典90点（古文45点、漢文45点）
- 数学②の出題は『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の1科目のみ。選択問題は1問増加し、4問中3問解答することに。試験時間は10分増の70分→→4問中3問の内容は従来通り
- 時間割（イメージ）判明。現行と同様1日目文系教科、2日目理系教科。教科「情報」は2日目の最後

## 23 地歴公民の組み合わせ

		「地理総合、 地理探究」	「歴史総合、 日本史探究」	「歴史総合、 世界史探究」	「地理総合、歴史総合、公共」			「公共、 倫理」	「公共、 政治・経済」
					「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」		
「地理総合、 地理探究」			○	○	×	×	○	○	○
「歴史総合、 日本史探究」		○		○	×	○	×	○	○
「歴史総合、 世界史探究」		○	○		×	○	×	○	○
「地理総合、 歴史総合、 公共」	「地理総合」 「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 「公共」	○	×	×				×	×
「公共、倫理」		○	○	○	○	×	×		×
「公共、政治・経済」		○	○	○	○	×	×	×	

\* 同一名称を含む科目は選択できない。ただし、「歴史総合、日本史探究」と「歴史総合、世界史探究」のみ可。

## 24 地歴・公民 試作問題から

	科目	配点(大問数)		
a	「地理総合、歴史総合、公共」 (2科目選択)	地理総合 50点(4題)	歴史総合 50点(2題)	公共 50点(4題)
b	「地理総合、地理探究」	地理総合 25点(2題)	地理探究 75点(5題)	
	「歴史総合、日本史探究」	歴史総合 25点(1題)	日本史探究 75点(5題)	
	「歴史総合、世界史探究」	歴史総合 25点(1題)	世界史探究 75点(4題)	
	「公共、倫理」	公共 25点(2題)	倫理 75点(4題)	
	「公共、政治・経済」	公共 25点(2題)	政治経済 75点(4題)	

\* aの地理総合、歴史総合、公共のうちそれぞれ25点分がbの同名教科の問題と共通問題となる。



## 25 情報 試作問題から

### ■「情報Ⅰ」試作問題の構成

試作問題			「情報Ⅰ」の分野			
大問番号	設問	配点	1)情報社会の 問題解決	2)コミュニケーション と情報デザイン	3)コンピュータと プログラミング	4)情報通信ネットワーク とデータの活用
第1問	問1	4	○			
	問2	6				○
	問3	6			○	
	問4	4		○		
第2問	A	15	○	○		
	B	15			○	
第3問		25			○	
第4問		25				○

\* 分野は新学習指導要領の4つの領域に対応

\* 試作問題を基に作成

\* プログラミング分野:合計46点

## 26 情報 試作問題から

### ■「情報Ⅰ」試作問題のキーワード

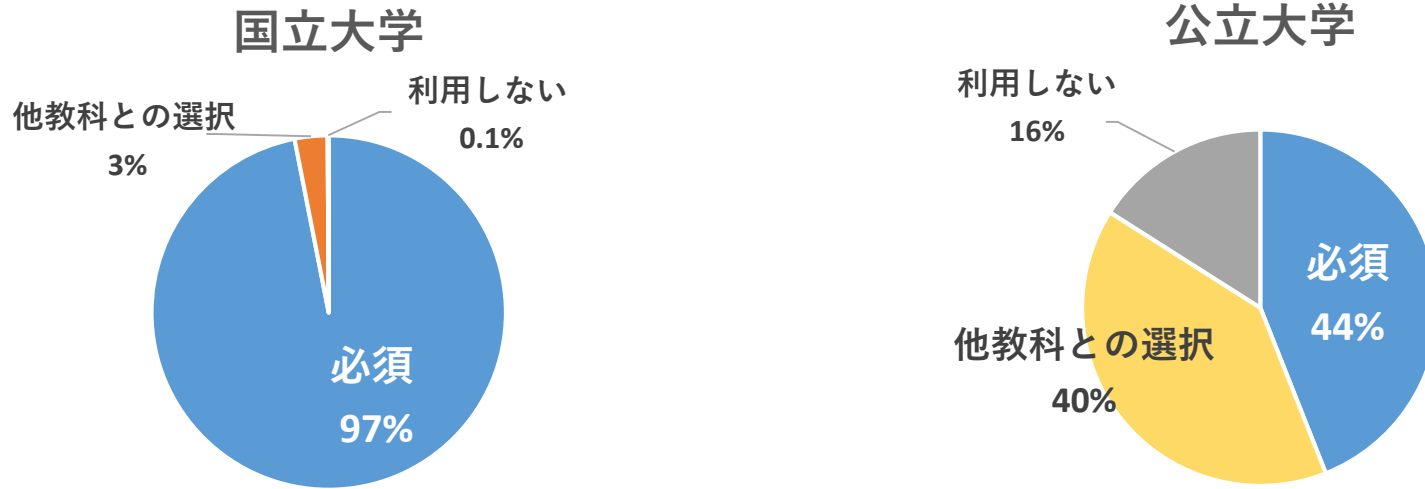
大問番号	設問	配点	キーワード
第1問	問1	4	SNS,メール、Webサイト、情報の信憑性
	問2	6	通信データの誤り訂正、パリティビット、基数変換
	問3	6	論理回路、論理演算、真理値表
	問4	4	情報デザイン、情報整理
第2問	A	15	二次元コード、知的財産権
	B	15	文化祭、待ち状況、確率モデル、シミュレーション
第3問		25	代金の支払い、アルゴリズム、プログラミング
第4問		25	データの活用と分析、グラフの読み取り、箱ひげ図、回帰直線
(参考問題)第4問			時系列のデータ、移動平均、相関関数

\* 試作問題を基に作成

\* 教科書はもちろんのこと、情報検定の問題集をはじめ、予備校などが行う模試の利用が必要

## 27 国公立大学 「情報 I」 の設定状況 河合塾調べ6月上旬

### ■ 「情報 I」 の扱いを公表している大学



### 国立大と公立大で状況が異なる

国立大ではほとんどの大学が必須としており、他教科との選択、情報 I は利用しないとする大学はごく一部にとどまる。

一方、公立大では「必須」と「選択」がほぼ半々に分かれている。公立大では6教科8科目を課す大学は2割余りにとどまる。このため情報 I が選択科目扱いとなっている大学が多くなっている。また「利用しない」とする大学区分も16%を占める。

※河合塾調べ、公表164大学の前期日程募集区分で集計

## 28 国公立大学 「情報 I」 の設定状況

河合塾調べ6月上旬

## ■ 「情報 I」 の配点比率

	国立大	公立大	全体
配点比が低い(10%未満)	55%	45%	55%
10%(素点利用)	37%	55%	37%
配点比が高い(10%を上回る)	8%	0%	8%

## 他教科より扱いが「重い」大学は少数派

比較をしやすいするために、対象を6教科8科目を課す大学に絞り、情報 I の配点、1000点満点中100点（配点比10%）を基準に、これより配点比が低い大学と高い大学で比較した。

国立大・公立大とも**配点比10%を超える募集区分は少数派**。国立大では配点比10%未満（他教科より扱いが「軽い」）が半数を超える。公立大では配点比10%（素点＝特別扱いしない）が多数派で、国立大と傾向が異なるように見えるが、6教科8科目を課すのは理系が多い影響であり、国立・公立大間で傾向に大きな違いはない。

\* 公表85大学のうち、6教科7科目を課す前期日程の募集区分で集計

## 29 「情報 I」の配点比率

- ・ 6 教科 8 科目を課す大学の総合点は素点で1000点。  
情報 I（100点）の配点比率は10%となる。
- ・ 情報 I を点数化して利用する大学では、配点比率**10%未満**の大学が多い。

**配点比率 低**  
**(10%未満)の大学**  
**55%**

旭川医科大、札幌医科大（医）、宮城教育大、秋田大（医-医）、東京海洋大（海洋生命科学）、横浜市立大、新潟大（法、経済科学、医-医、歯など）、愛知教育大、豊橋技術科学大、名古屋大、名古屋工業大、三重大、岡山大、高知大（理工、医-医）、九州工業大、佐賀大、大分大（福祉健康科学、経済、教育、理工）、宮崎大（地域資源創成） など

**配点比率 10%**  
**の大学**  
**37%**

札幌医科大（保健医療）、宮城大、秋田大（医-保健など）、会津大（コンピュータ理工）、東京医科歯科大（医）、東京工業大、横浜国立大（都市科学-環境リスク共生除く）、新潟大（人文、農、医-保健など）、京都府立医科大（医-医）、広島大（経済、理、医など）、宮崎大（工、農、医-医） など

**配点比率 高**  
**(10%超)の大学**  
**8%**

秋田大（理工など）、東京海洋大（海洋工-海事システム工）、東京学芸大（教育-情報教育、中等-情報など）、長岡技術科学大、新潟大（工、創生など）、神戸大（法、経済、工、農など） など

※河合塾調べ、2023年6月上旬現在

※配点公表大のうち一般選抜（前期日程）で6教科8科目を課す募集区分で集計（理科①は2科目で1科目とする）

## 30 「情報 I」の配点比率

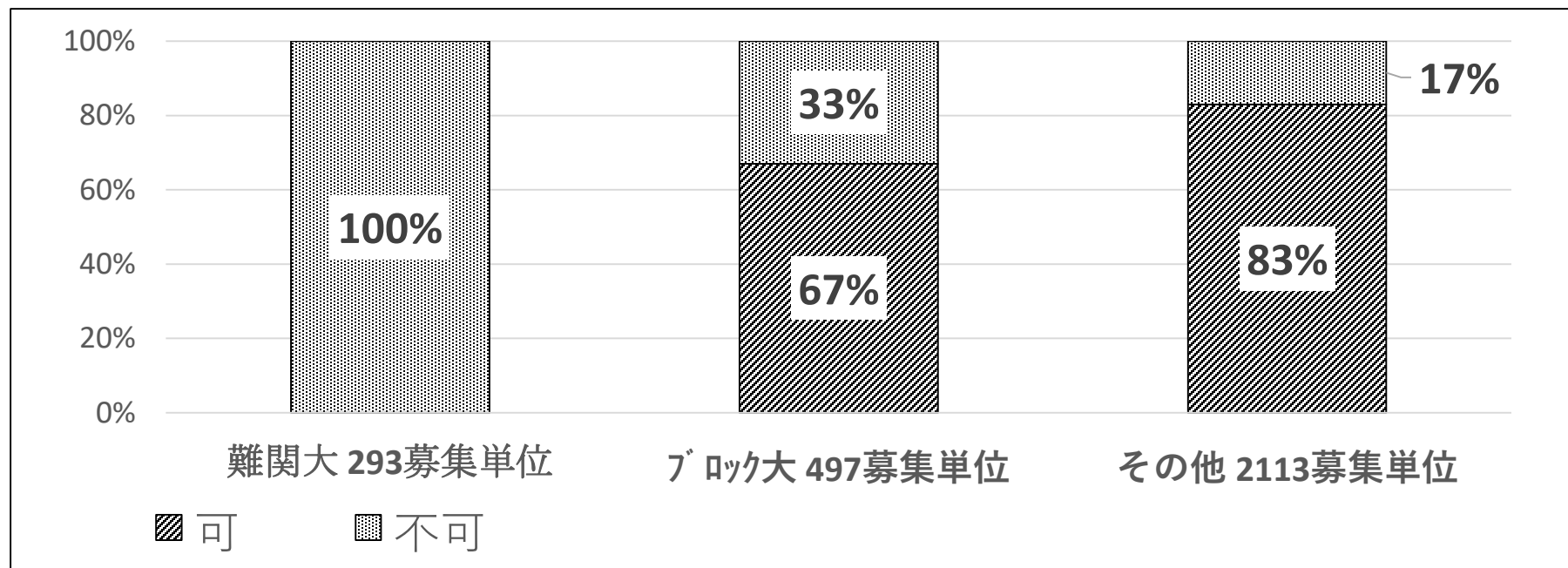
### ● 例 神戸大 共通テスト「情報 I」の配点比率

前期抜粋	共テ	うち情報	情報/共テ	二次	合計	情報/合計
文	450	20	4.4%	350	800	2.5%
国際人間科学ーグローバル文化	400	45	11.3%	400	800	5.6%
国際人間科学ー発達コミュニティ	425	25	5.9%	425	850	2.9%
法	475	50	10.5%	375	850	5.9%
経済	450	50	11.1%	450	900	5.6%
経営	400	25	6.3%	375	775	3.2%
理ー数学	360	10	2.8%	455	815	1.2%
理ー物理	430	5	1.2%	425	855	0.6%
医ー医	380	20	5.3%	480	860	2.3%
医ー看護	470	20	4.3%	350	820	2.4%
工ー電気電子工	350	50	14.3%	650	1000	5.0%
工ー機械工	350	50	14.3%	650	1000	5.0%
工ー情報知能工	300	50	16.7%	700	1000	5.0%
農ー食料環境	450	50	11.1%	450	900	5.6%
海洋政策科学	550	50	9.1%	500	1050	4.8%

※河合塾調べ、2023年4月末現在、一般選抜（前期日程）で神戸大HPより調査

## 31 共通テスト 地歴・公民の選択

### ■ 地歴公民を課す際の「地理総合、歴史総合、公共」の選択の可否



公表済みの難関大：北海道大・東北大・東京大・東京工業大・一橋大・名古屋大・京都大・大阪大・神戸大・九州大

公表済みのブロック大：筑波大・千葉大・横浜国立大・新潟大・金沢大・信州大・岡山大・広島大・熊本大・東京都立大・大阪公立大

\*アンケート調査：2023年4月上旬

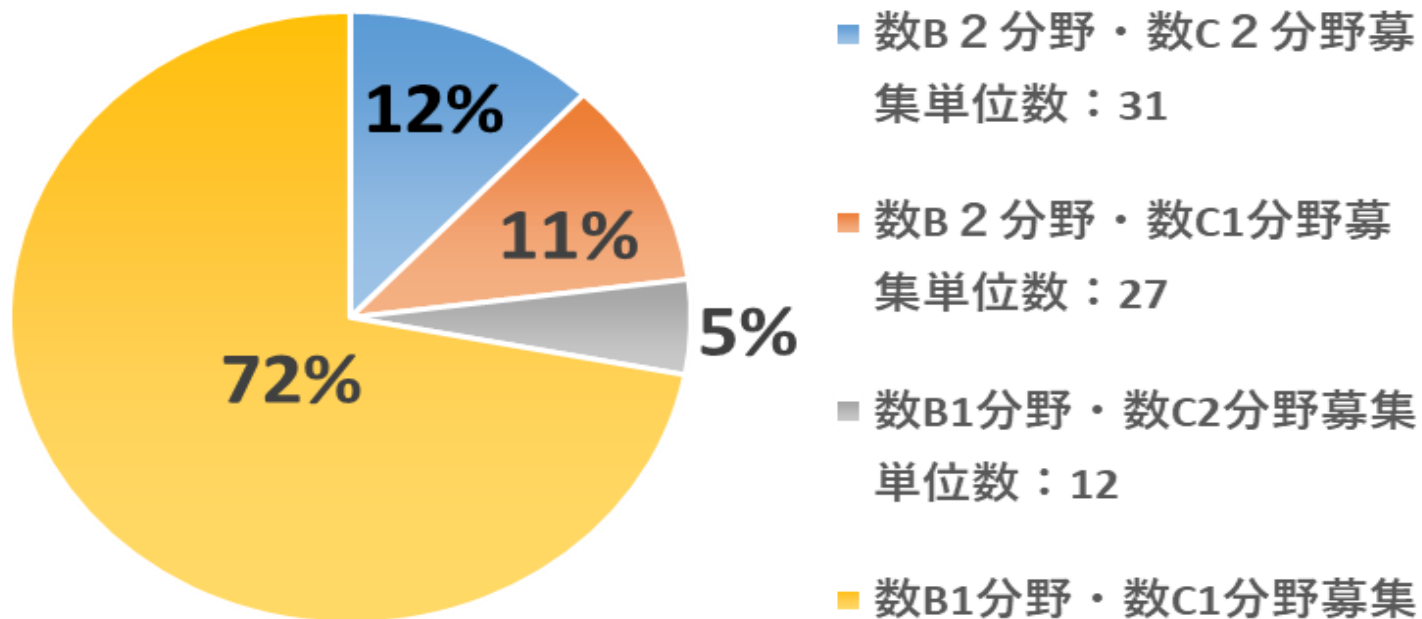
「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治経済」からの選択が志望校対策への汎用性が高い

## 32 個別試験 数学（国公立大 一般選抜） 文系

### ■ 数学を課す際の数学 B、数学 C の試験範囲

該当情報公表のあった250募集単位（大学・学部・学科・日程・方式）

個別試験で数B、数Cを課し、数B「数列」「統計的な推測」数C「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」の中から出題すると公表した募集単位の内訳



数B 2 分野：数列、統計的な推測

数B 1 分野：数列

数C 2 分野：ベクトル、平面上の曲線と複素数平面

数C 1 分野：ベクトル

※2分野と1分野が選択可能な場合は2分野で集計に加えている



# 33個別試験 数学（国公立大 一般選抜） 文系

## ■ 数学を課す際の数学B、数学Cの試験範囲 パターン別募集単位(例)

数B 2 分野 ・ 数C 2 分野				
募集単位数：31				
【募集単位の例】				
大学	学部	学科〔専攻〕	日程	方式
三重大	教育	学校教育教員養成〔国語教育・初等教育〕	前	
長崎大	経済	総合経済	前	
長崎大	教育	学校教育教員養成〔小学校教育〕	前	
静岡県立大	経営情報	経営情報	前	
数B 2 分野 ・ 数C1分野				
募集単位数：27				
【募集単位の例】				
東京大	文科一類		前	
鳥取大	地域	地域〔人間形成〕	前	
山口大	経済		前	
宮城大	事業構想学群		前	
静岡文化芸術大	デザイン	デザイン	前	I 数学
数B1分野 ・ 数C2分野				
募集単位数：12				
【募集単位の例】				
小樽商科大	商		前	
岡山大	教育	学校教育教員養成〔小学校教育〕	前	
数B1分野 ・ 数C1分野				
募集単位数：180				
【募集単位の例】				
北海道大	法	法学	前	
名古屋大	経済		前	
京都大	教育	教育科	前	文系
大阪大	人間科学	人間科学	前	

# 34 国公立大 新課程入試の観点整理

	教科・科目	公表状況より	対応
共通 テスト	情報Ⅰ	多くの国公立大が必須で課す	授業履修内容を踏まえて共通テスト対策が必要
	地歴・公民の選択	「地理総合、歴史総合、公共」の選択の可否が大学や募集単位によって分かれる	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治経済」からの選択が志望校対策への汎用性が高い
	数学②	「数学Ⅱ・B・C」が出題科目となる	「数学B」の2項目(数列、統計的な推測)及び「数学C」の2項目(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)から3項目の対策が必要
個別 試験	国語	試験範囲を「現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究」とする大学・学部や「現代の国語・言語文化(古文・漢文からも出題)とする大学・学部がある	「論理国語」「古典探究」は必須のつもりで、志望校の設定する試験範囲に応じた対策が必要
	数学②	数学B(「統計的な推測」を含むか)、数学C(「平面上の曲線、複素数平面」を含むか)の試験範囲が大学・学部によって分かれる	志望校の設定する試験範囲に応じた対策が必要

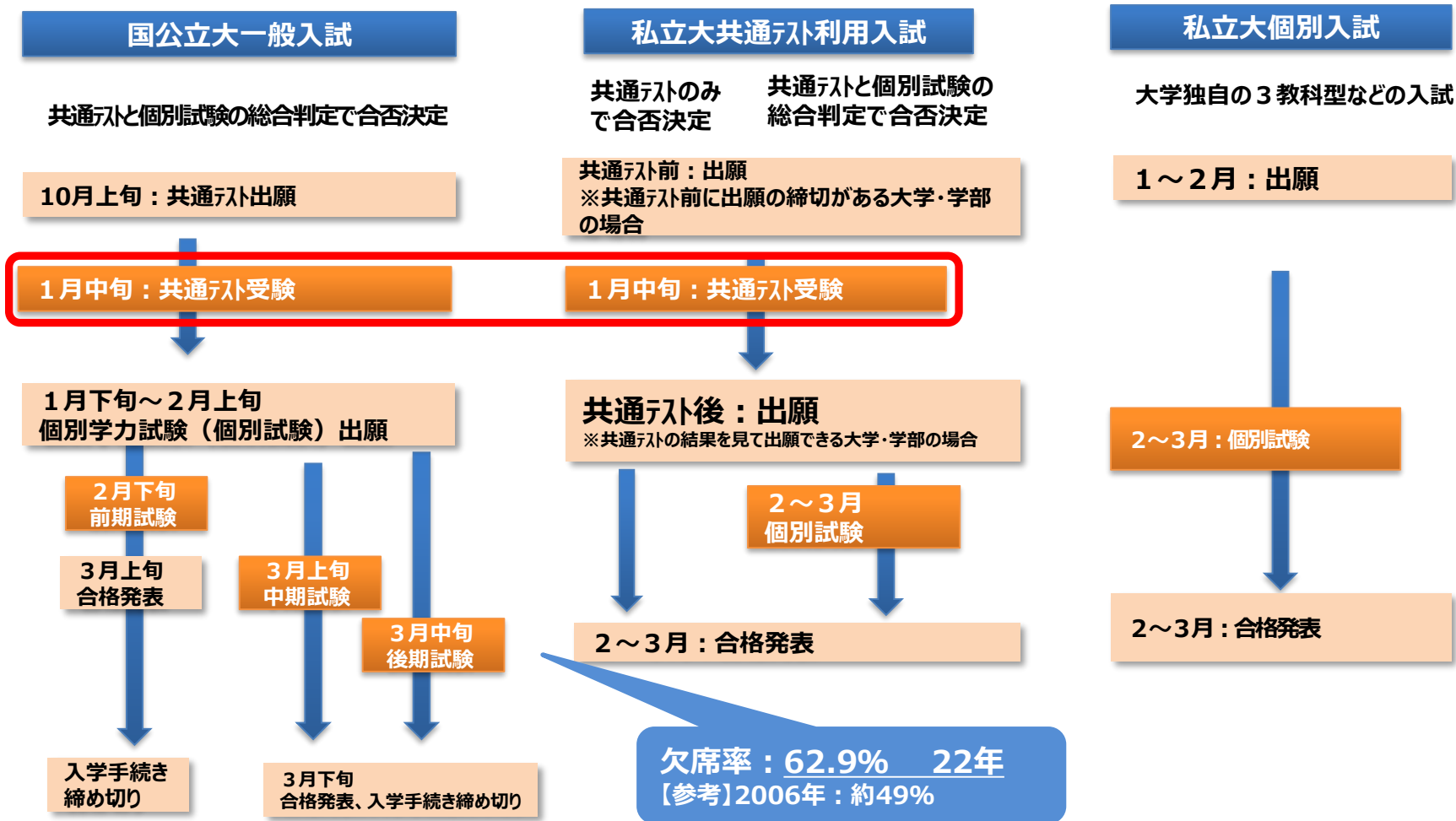
2023年8月中旬現在でまだ公表されていない大学もあるが、

自分が目指す大学や受験する可能性のある大学のHPで各自確認すること！

35 memo

---

# 36 入試の仕組み 日程



## 37 入試の仕組み 方式

---

### ■ 国公立大学

総合型（AO）・学校選抜（推薦）、

2次試験（必ず、共通テストを受けなければならない）

（前・中・後期・・・一括出願：各期1校のみ受験できる）

\* 併願はできない

### ■ 私立大学

総合型、学校選抜、

一般試験（共通テスト利用等多様なパターン）

\* 併願できる。

■ 短期大学      私立大学と同じ      推薦入試での定員が多い

■ 専門学校      AO・推薦、一般試験      推薦入試での定員が多い

■ 海外進学

## 38 入試の仕組み 推薦入試（総合型・学校選抜）

---

### ■ 公募制推薦と指定校推薦

### ■ 専願と併願

**専願：合格したら必ず入学しなければならない。**

併願：複数の受験が可能なもの。

\* 総合型選抜（A0）：多くの場合、エントリーは併願扱いだが、  
それ以降は専願に切り替わるところがほとんど。

受験しようと思う学校が、第1志望であれば、専願入試を受験するのもいいが、そうでなければ、併願入試タイプを選ぶ方がよい。

**■ 推薦入試には向き不向きがある。急に思い立ってなど論外！**

## 39 総合型選抜（旧AO試験）

---

- 一般選抜・学校推薦型選抜に次ぐ**第3の入試**
- 出願期間は**9月1日**からスタートと、最も早い入試
- 書類や面接等で能力・適性・意欲等を**総合的に判定**
- **アドミッションポリシーとの適合性**が求められる
- **高い学習意欲・明確な目的意識**が必須  
面接を中心に**時間をかけて**適性・能力が判定される
- **学力を確認する評価**も必須  
たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、  
学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど
- **国公立大、難関私立大では、高倍率入試も目立つ**
- 入金時期が早い

## 40 学校推薦選抜（旧一般推薦）

---

- 学校長の推薦があれば受験可能  
但し国公立大の場合は推薦枠がある場合があり、超過すれば選考会議を行う
  - 試験は私大は11月に行われるものがほとんど  
国公立大学の場合は12月初旬が多い
  - 関西圏の場合は、2～3科目の学力試験がメイン  
一部小論文面接試験などを行うところあり  
国公立大の場合、共通テストを課すところも多い
  - 一部を除いて、ほとんどが併願可能  
国公立大の場合は全て専願
  - 入金時期が早い
- いずれにしても試験時期が早く、早めの準備と仕上がりが必要になる



## 41 推薦入試には向き不向きがある

### ■面接・小論文・志望理由書のためのベース

#### ◇教養がある

##### 社会的視野

- ・社会的なものごとに対して興味関心があり、知識もある
- ・雑学に強い=いろいろな物事への興味関心知識がある

##### 学問・専門分野への造詣

- ・学問(専門分野)に対する興味関心があり、知識もある

#### ◇論理的思考ができる

- ・自分の考えを言語化できる
- ・本質を理解する力がある
- ・抽象から具体、具体から抽象への思考ができる
- ・論理の流れを整理して図に表すことができる
- ・自分の体験の意味を考えることができる

- ・社会的問題に関して知的好奇心を持って知ろうとする積極性
- ・自分から考え、自分の考えをまとめて論理的意見として述べる
- ・自己を客観的に分析してアピールできる表現力を持つ

#### ☆総合型推薦の場合：

6年夏前には、志望理由ややりたいことを明確に語れる必要がある

## 42 総合型選抜と学校推薦選抜 準備と心構え

---

- 合格したら**入学する意志**をもつこと
  - 学校推薦型選抜・総合型選抜はあくまでも**第1志望校の受験機会の拡大**として活用
  - \* **総合型選抜の多くは専願** 国公立大の複数受験はできない
- **早期の受験準備**・出願校の決定が必要
  - 一般選抜とは異なる受験準備が必要
  - **一般選抜の勉強を並行して継続すること**
- 受験準備に**多大な労力**がかかる場合あり
  - 国公立大・難関私立大では入念な受験準備が必要
  - 受かり易いイメージから対策が甘くなりがち
- 一般入試の妨げになりかねない

# 43 本校の推薦入試状況 概要と詳細 11期以降

			11期	12期	13期	14期	15期
国公立大	総合型選抜 旧AO	合格	0	0	2	1	1
		不合格	5	0	1	3	1
	学校型選抜 旧一般推薦	合格	3	3	2	6	3
		不合格	3	4	4	8	4
私立大	総合型選抜 旧AO	合格	15	6	13	11	12
		不合格	6	5	5	5	4
	学校型選抜 旧一般推薦	合格	28	28	35	25	41
		不合格	25	68	34	34	49

			11期	12期	13期	14期	15期
私立大	総合型選抜 旧AO	合格	慶応大 早稲田大 聖心女子大 明治大 同志社大2 立命館大2 関西学院大 神戸女学院大 <small>立命館アジア太平洋大</small>	慶応大2 関西大 その他	早稲田大 東京農大 立命館大 関西学院大4 <small>立命館アジア太平洋大</small> その他	立教大 同志社大 立命館大 関西大 関西外大 関西学院大5 その他	上智大2 東京農大 早稲田大 京都女子大 立命館大2 関西学院大 神戸学院大
		不合格	大妻女子大 慶応大 国際基督教大 立命館大2	慶応大 関西学院大	早稲田大 東京薬科大 関西学院大2 その他	慶応大 成蹊大 立教大 同志社大 立命館大 その他	上智大2 早稲田大 京都産業大 甲南女子大

		11期	12期	13期	14期	15期
国公立大学	総合型選抜 旧AO	合格		東北大 兵庫県立大	東北大	京都工芸繊維大
	不合格	東京海洋大 京都工芸繊維大 名古屋市立大 大阪府大 神戸市外大		国際教養大	広島大 神戸市外大2	京都工芸繊維大
私立大学	学校型選抜 旧一般推薦	合格	神戸大 兵庫県立大2 兵庫県立大 神戸市外大	神戸大 兵庫県立大 神戸市外大	一橋大 神戸市外大 東京外大 大阪公立大2 神戸市外大2	東京外大 神戸大 神戸市外大
	不合格	大阪大 鳥取大 兵庫県立大	群馬大 東京大 京都大 大阪市立大	筑波大 大阪教育大 神戸大 神戸市外大		京都工芸繊維大 大阪公立大 神戸市外大2

## 44 国公立大学 ～一般入試～

共通テスト受験から出願まで 17期生の場合

1月18,19日：共通テスト

1月20日：自己採点

1月末～2月初め出願

自己採点結果をベネッセ・河合塾等が、全国の大学・学部・学科別の出願予定者の得点分布を作成

共通テスト後4日間程で結果判明

集計結果を見て、担任と面談 → 最終出願校を決定

### 出願校の考え方 ～志望校と出願校は違うのが一般的～

国公立(特に前期)は、ほぼ判定通りになりやすい。従って、

・共通テストが予想以上にとれた場合

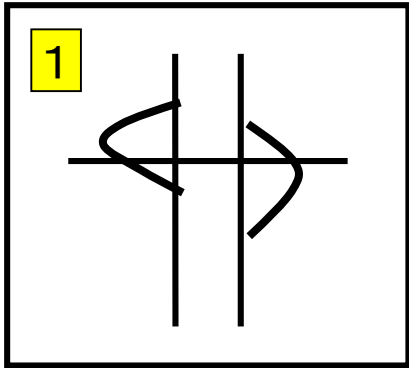
・とれなかった場合

・ほぼ予想通り

の3パターンを考えて志望校を考えておくのが常識。 最大9校考える

出願校が決定した後に、願書を入手することは時間的に困難模試の結果を参考にして、共通テストの得点を“幅広く(予想通り、失敗した)予測して複数の大学の願書を あらかじめ入手

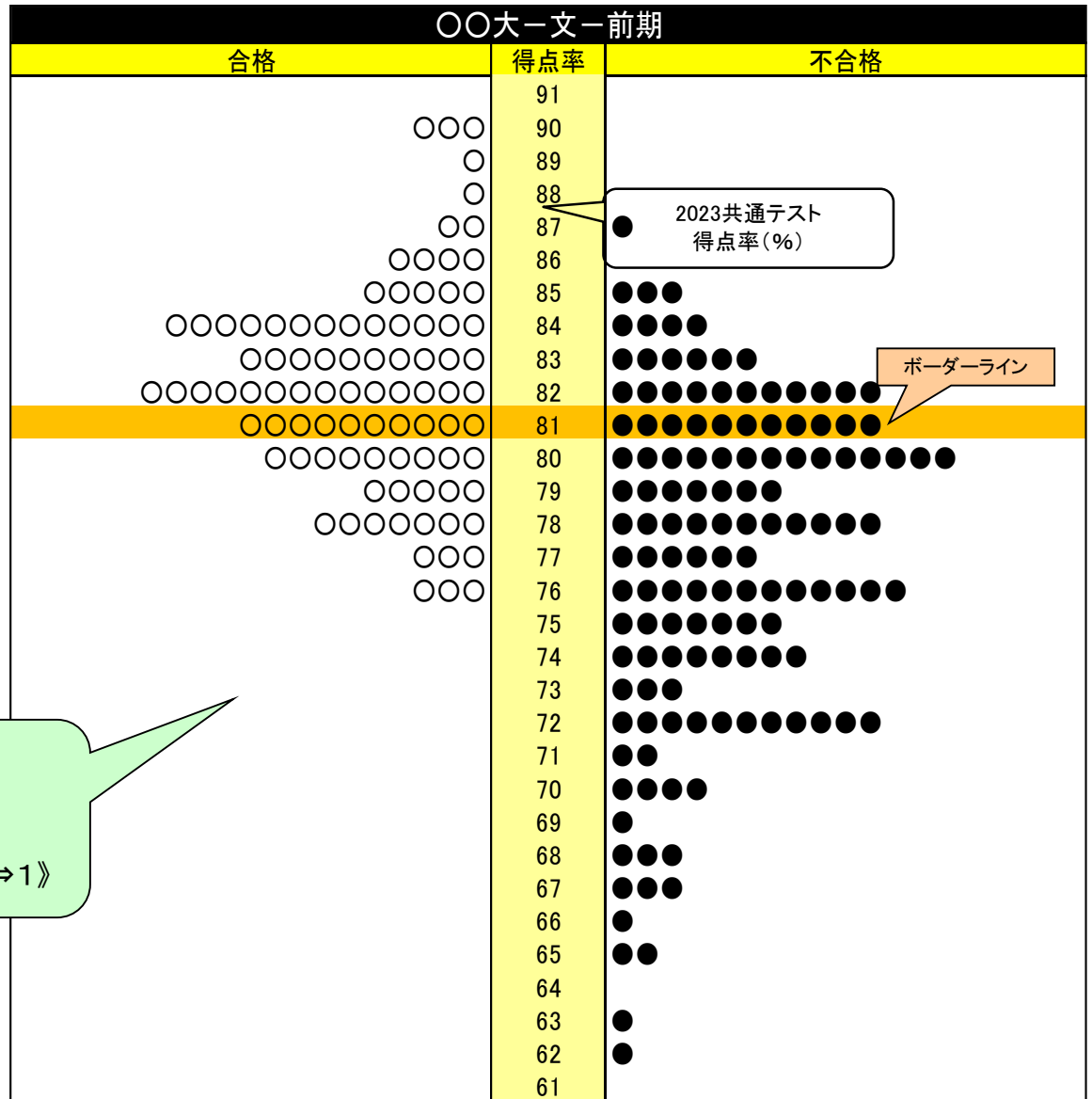
# 45 合否実態の類型 バランス型



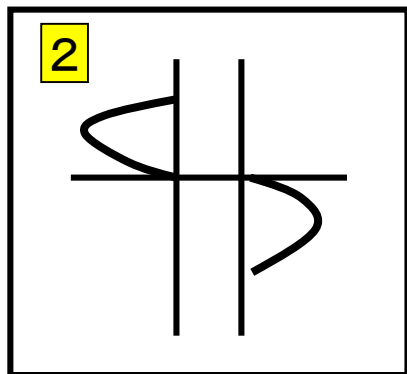
バランス型

※データはサンプルです。

〇〇大一文前期  
 共通テスト: 2次  
 250:400  
 2次:【英、国】《数学ⅡB・地歴B⇒1》



# 46 合否実態の類型 共通テスト逃げ切り型



※データはサンプルです。

共通テスト逃げ切り型

△△大ー教育ー幼児教育ー前期		
合格	得点率	不合格
	80	
	79	
	78	
	77	
	76	○
	75	
	74	
	73	
	72	
	71	○
○○○○○○○	70	
○○	69	
○○	68	
○○○○	67	
○○○	65	●
○○	64	
	63	●
	62	●●
	61	●●●
	60	●●●
	59	
	58	●
	57	●
	56	
	55	●●
	54	
	53	●
	52	
	51	
	50	
	49	●
	48	●

ボーダーライン

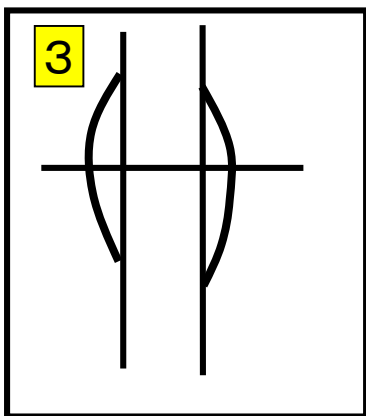
△△大ー教育ー  
幼児教育ー前期  
共通テスト:2次  
950:300  
2次:面接

□□大ー創造工ー機械システムー後期		
合格	得点率	不合格
	80	
	79	
	78	
	77	
	76	
	75	
	74	
	73	
	72	
	71	○○
	70	
○○○	69	
	68	
	67	
○○○	65	○
	64	
	63	
	62	●●
	61	●●
	60	●
	59	
	58	●
	57	●
	56	
	55	●●
	54	●
	53	
	52	
	51	
	50	●●
	49	●
	48	

ボーダーライン

□□大ー創造工ー  
機械システムー後期  
共通テスト:2次  
900:100  
2次:小論文

# 47 合否実態の類型 2次勝負型



2次勝負型

※データはサンプルです。

◇◇大一総合人間—理系—前期  
**共通テスト:2次**  
**100:700**  
 2次:英、数ⅢB、国語、理科2  
 ※共通テスト英語、数学、国語、理科は  
 第一段階選抜にのみ利用

◇◇大一総合人間—総合人間理系—前期		
合格	得点率	不合格
○	100	●
	99	
○○○○	98	
○	97	●●
	96	
	95	●
○○	94	●●
	93	
	92	●●
○○○	91	●●●
○○	90	●●●●
○○	89	●●●●●
○○	88	●●
	87	●●
○○	86	
○	85	●●●●●●●●
○	84	●●
○	83	
○○○	82	●●
	81	
	80	●●●●
○	79	●●●●
	78	●
○	77	●●●●
○	76	●●●●●●
○○	75	●●●●
○	74	●●
○	73	
	72	●●
	71	●●

ボーダーライン

## 48 共通テスト4教科以下で受験できる国公立大学 抜粋

## ■ 国立大 前期日程

大学名	学部名	学科〔専攻<コース>〕
埼玉大	経済	経済/国際プログラム枠
東京外国語大	言語文化	言語文化
東京外国語大	国際社会	国際社会
東京外国語大	国際日本	国際日本
山梨大	生命環境	地域社会システム
信州大	人文	人文
富山大	芸術文化	芸術文化/a
金沢大	文系一括入試	
金沢大	理系一括入試	
滋賀大	経済	★総合経済/A 国語・外国語
滋賀大	経済	★総合経済/A 数学・外国語
大阪教育大	教育	教育協働[グローバル教育<多文化リテラシー>, 芸術表現, スポーツ科学]
鳥取大	地域	地域[地域創造]
岡山大	法夜	法
山口大	人文	人文
山口大	教育	学校教育教員養成[情報教育]
香川大	経済	経済
愛媛大	社会共創	地域資源マネジメント[スポーツ健康マネジメント]
高知大	地域協働	地域協働
高知大	★農林海洋科	海洋資源科[海洋生物生産学, 海底資源環境学]
佐賀大	経済	全
長崎大	多文化社会	多文化社会
宮崎大	農	応用生物科

## ■ 公立大 前期日程

大学名	学部名	学科〔専攻<コース>〕
滋賀県立大	人間文化	地域文化, 国際コミュニケーション
福知山公立大	地域経営	全/3教科型
福知山公立大	情報	情報/3教科型
神戸市外国語大	外国語	全
兵庫県立大	環境人間	環境人間
奈良県立大	地域創造	地域創造
下関市立大	経済	全/A
北九州市立大	外国語	全
北九州市立大	経済	全/英語選択
北九州市立大	経済	全/数学選択
国際教養大	国際教養	国際教養/B
国際教養大	国際教養	国際教養/C
東京都立大	法	法
東京都立大	都市環境	都市基盤環境, 建築, 環境応用化
東京都立大	システムデザイ	インダストリアルアート
東京都立大	健康福祉	全
横浜市立大	国際商	国際商/B
横浜市立大	データサイエン	データサイエンス
横浜市立大	国際教養	国際教養/B
横浜市立大	理	理/B
都留文科大	文	全
都留文科大	文	英文/3教科3科目型
都留文科大	教養	全



## 49 私立大学入試 ～一般入試～

---

### ■ 2～3教科入試が大半

### ■ 受験校数・受験回数に制限なし

### ■ 1回の試験の得点だけで合否が決まることが多い

#### 1) 入試方式……一般入試 or 推薦入試

- ・第1志望校は一般入試まで粘るのが原則。基本的には推薦を第1志望にはしない。
- ・入試科目を得意科目だけに絞らない。

**「科目を絞る＝可能性を狭める」**のは、受験の世界の常識！

#### 2) 試験日自由選択制とweb出願

- ・併願校の日程を調べて受験する。複数出願による割引受験がどこまで有益なのかを考慮する。  
**同一大ばかり併願しても、結局はお金と時間の無駄。**

#### 3) 3月入試……最後まで粘って合格する生徒も多い。

特にワランク上での合格が目立つ。

#### 4) 共通テスト利用……私立大受験では経済的・体力的な負担が軽い→積極的に利用したい

- ・共テ利用・共テ併用の2方式がある
- ・受験料は一般入試と比べて割安
- ・得意科目や共テでの高得点科目が使える

# 50 近畿23私大\_入試方式別占有率\_志願者数・合格者数

## 志願者数

## 合格者数

23年度入試

大学名	年度	推薦	総合	一般前期	一般後期	共テ前期	共テ後期
1 同志社大	'23	1%	1%	79%		19%	
	'22	1%	1%	81%		17%	
2 立命館大	'23		2%	56%	6%	33%	3%
	'22		1%	57%	7%	31%	3%
3 関西大	'23	0%	1%	70%		27%	2%
	'22	0%	1%	72%		25%	2%
4 関西学院大	'23		1%	65%		31%	3%
	'22		1%	66%		29%	4%
5 京都産業大	'23	25%	1%	45%	3%	24%	1%
	'22	25%	1%	47%	4%	23%	1%
6 龍谷大	'23	30%	0%	44%	4%	21%	1%
	'22	27%		44%	3%	25%	1%
7 近畿大	'23	24%	0%	49%	7%	18%	2%
	'22	24%	0%	51%	5%	19%	1%
8 甲南大	'23	0%	14%	59%	2%	24%	1%
	'22	0%	9%	54%	4%	33%	1%
9 追手門学院大	'23	48%	0%	37%	6%	8%	1%
	'22	43%	0%	39%	7%	8%	1%
10 摂南大	'23	46%	2%	33%	2%	16%	1%
	'22	46%	0%	38%	2%	14%	1%
11 桃山学院大	'23	50%	4%	23%	8%	11%	5%
	'22	45%	2%	28%	9%	12%	4%
12 神戸学院大	'23	29%	2%	51%	4%	14%	1%
	'22	24%	1%	53%	6%	16%	1%

推薦	総合	一般前期	一般後期	共テ前期	共テ後期	
1%	1%	81%		17%		1
1%	1%	83%		15%		
	2%	57%	2%	36%	3%	2
	2%	57%	3%	35%	3%	
0%	1%	67%		29%	2%	3
0%	1%	71%		26%	3%	
	2%	65%		30%	2%	4
	1%	70%		26%	3%	
24%	1%	48%	2%	24%	1%	5
25%	1%	50%	2%	22%	0%	
26%	1%	32%	2%	37%	2%	6
21%		34%	2%	41%	2%	
24%	0%	40%	4%	31%	1%	7
22%	0%	42%	3%	31%	2%	
0%	10%	60%	2%	27%	1%	8
0%	7%	55%	3%	33%	1%	
57%	1%	27%	4%	11%	1%	9
48%	0%	23%	13%	15%	2%	
55%	3%	27%	1%	13%	1%	10
52%	1%	36%	2%	10%	0%	
45%	5%	27%	7%	12%	4%	11
41%	5%	27%	8%	16%	3%	
29%	2%	51%	3%	14%	1%	12
25%	2%	53%	4%	15%	1%	

# 51 近畿23私大\_入試方式別占有率\_志願者数・合格者数

志願者数

合格者数

23年度入試

大学名	年度	推薦	総合	一般前期	一般後期	共テ前期	共テ後期
13 京都橘大	'23	30%	2%	47%	3%	17%	1%
	'22	28%	1%	47%	5%	17%	2%
14 佛教大	'23	54%	1%	36%	5%	3%	1%
	'22	46%	1%	43%	6%	3%	1%
15 京都女子大	'23	32%	3%	38%	2%	24%	2%
	'22	30%	3%	37%	3%	26%	1%
16 同志社女子大	'23		37%	38%	9%	15%	1%
	'22		34%	42%	9%	14%	0%
17 武庫川女子大	'23	52%		43%	2%	3%	
	'22	49%		45%	2%	4%	
18 大和大	'23	38%	0%	53%	3%	5%	1%
	'22	31%	0%	34%	12%	20%	2%
19 畿央大	'23	44%	3%	36%	5%	10%	2%
	'22	37%	2%	43%	5%	10%	3%
20 大阪経大	'23	36%	3%	41%	5%	15%	
	'22	22%	2%	53%	6%	16%	
21 大阪工大	'23	29%	0%	37%	5%	26%	3%
	'22	27%	0%	39%	5%	25%	3%
22 京都外大	'23	40%	23%	21%	2%	11%	3%
	'22	50%	9%	27%	2%	11%	1%
23 関西外大	'23	59%		27%	1%	11%	1%
	'22	60%		27%	3%	9%	1%

推薦	総合	一般前期	一般後期	共テ前期	共テ後期
38%	3%	46%	3%	9%	1%
34%	3%	50%	2%	11%	1%
55%	3%	35%	2%	4%	1%
43%	2%	41%	7%	5%	2%
26%	3%	44%	2%	22%	2%
27%	3%	41%	1%	27%	1%
	39%	40%	4%	17%	0%
	29%	45%	8%	17%	1%
48%		42%	3%	7%	
46%		44%	3%	7%	
47%	0%	45%	1%	6%	0%
34%	1%	32%	12%	20%	2%
43%	3%	40%	4%	7%	2%
28%	2%	52%	5%	10%	3%
30%	6%	40%	2%	22%	
15%	6%	51%	4%	24%	
30%	1%	31%	7%	28%	3%
31%	1%	33%	8%	24%	3%
44%	28%	19%	1%	7%	1%
49%	11%	28%	1%	10%	2%
59%		27%	2%	10%	2%
60%		28%	2%	9%	1%

※5月10日までに確認した情報をもとに集計

※記号について「\*」:他の入試方式を含む場合「-」:非公表、もしくは若干名のみ

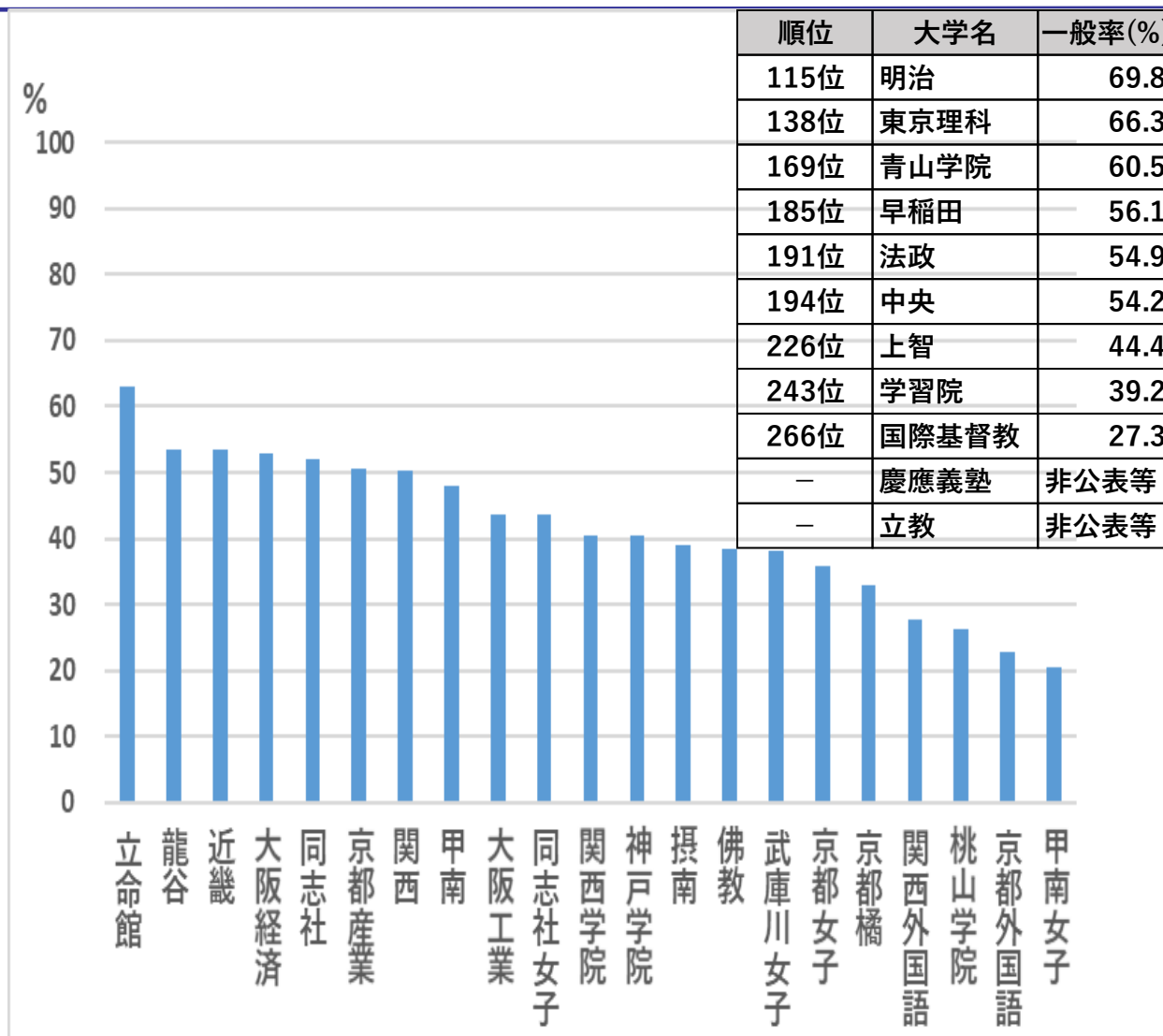
※割合はベネッセが小数点第一位を四捨五入して算出、その結果「0%」となる場合や、合計で100%にならない場合もあります。

※「推薦」は学校推薦型選抜、「総合」は総合型選抜

■ 推薦比率の高い大学 → → → 推薦入試から攻める

# 52 一般入試入学者占有率 2022年度入試から

順位	大学名	一般率(%)	参考	
158位	立命館	63.0	61.0	
196位	龍谷	53.6		
197位	近畿	53.5		
199位	大阪経済	52.9		
204位	同志社	52.1		
208位	京都産業	50.6	55.1	
210位	関西	50.2		
221位	甲南	48.0	55.2	
228位	大阪工業	43.7		
231位	同志社女子	43.5		
239位	関西学院	40.5		
240位	神戸学院	40.5		48.5
244位	摂南	39.0		
248位	佛教	38.3		
249位	武庫川女子	38.1		
253位	京都女子	35.9		
259位	京都橘	33.0		
265位	関西外国語	27.6		
267位	桃山学院	26.4		
270位	京都外国語	22.9		
272位	甲南女子	20.6		
—	追手門学院	非公表等		
—	神戸女学院	非公表等		
—	大和	非公表等		



旺文社『2022年度用 大学の真の実力情報公開BOOK』より

\*順位は、国公立大学を含む主要293大学によるもの

\*関西地区及び関東難関大学を抽出。但し、医科大学及び薬科大学は省いた

\*参考値は、2022年度入試での数値

## 53 私立大「見かけの倍率」と「実質倍率」

## 例) 2023年度入試 関西学院大学(経済)の入試結果

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率
全学日程	140	1,959	14	1,915	937	2.0
学部個別日程	120	1,024	8.5	986	426	2.3
共テ利用 1月出願	65	937	14.4		367	2.7

## 例) 2023年度入試 立命館大学(経営学科)の入試結果

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	得点率
全学統一	185	3,772	4.9	3,695	1078	3.4	65.0
個別配点	43	818	5.3	783	249	3.1	70.0
共テ併用(3教科型)	12	475	2.5	458	91	5.0	74.3
共テ3教科型	65	504	3.2	502	97	5.2	83.3
共テ5教科型		413		412	241	1.7	71.4
共テ7教科型		1,143		1,143	693	1.6	69.6

募集人員は、入学者数を想定したものの合格者数は、実入学者を想定し増えるのが一般的従って、特に共テ利用型はほとんどが大幅な割り増し合格が出る。更に多科目型の方が、倍率競争率共に下がるのが一般的。

# 54 科目を絞ると難易度が上がる

例：2023年度 関西大学

学部	学科	方式	募集人員	志願者			受験者		合格者		割増率	実質倍率			記述模試集計 合格者平均SS	
				23年度	前年比		23年度	前年比	23年度	前年比		23年度	22年度	21年度	23年度	前年度
政策創造		全体	172	2389	70%	▼	2365	70%	613	106%	356%	3.9	5.8	5.1	59.3	0.6
		全I 2	10	234	61%	▼	233	61%	54	180%	540%	4.3	12.7	10.7	61.3	2.1
		全I 3	92	927	70%	▼	919	71%	245	102%	266%	3.8	5.4	4.8	60.8	1.1
		全II 3	70	1228	72%	▼	1213	72%	314	101%	449%	3.9	5.4	4.7	57.5	-1.8
法	法学政治	全I 2	30	931	103%		916	102%	154	61%	513%	5.9	3.5	3.1	64.5	5.4
		全I 3											3.9	3.1	61.5	0.9
		全II 3	270	5270	0.93		5148	0.93	818	0.56	3.03	6.3	3.3	3.3	59.9	1.3
		全II 同											4.0	3.6	61.5	1.2

## 55 得意科目を活かした入試

---

例えば……

### ■ 関西学院大学

・ 共通テスト併用日程（英語or数学） 400点満点

関学独自試験（英語or数学） 200点

+

共通テスト高得点2科目 外国語・数学・国語・理科・地歴・公民 200点；各100点

・ 傾斜配点型 600点満点

社会学部 英語：200点 + 国語：100点 + 地歴 or 数学：300点

商学部 英語：300点 + 国語：150点 + 地歴 or 数学：150点

### ■ 立命館大学 国際関係学部

・ I R方式 英語：100点 + 英語（国際関係に関する英文読解）：100点  
+ 英語外部資格試験（得点換算）：100点

**\*ただし、その教科を得意とする受験生が集まってくる（=合格のハードルが上がる）ことは留意しよう**

## 56 どの時期に、どんな勉強？

4・5年生は、学習の基礎体力作り  
基礎学力 + 学習習慣

### 基礎学力をつけることが前提

受験勉強は“地道に、焦らず、着実に”。基礎学力のないまま焦って、ハイレベルの問題ばかりに手を出しても、力はつかない。 **最も大事なこと = 「基礎基本」 覚えるべきは、徹底して覚えきる**

**4・5年生**：①学習の習慣をつける ②学校の授業を中心に 予習→授業→復習のサイクル確立  
③英・数・国を中心に ④2月～春休み；復習をして、ヌケモレを埋める

**5年生秋冬**：秋からは受験生としての意識を！ 3学期は高3の0学期。 \* 志望する学問系統確認

### 第1期（夏休みまで） 基礎学力をつける・基礎基本の徹底

授業をおろそかにしない “予習⇒授業⇒復習”

定期考査で点が取れる → 入試の基礎学力

“教えられる”だけの勉強 → “自分で考える”勉強（本当の力）

■ **学習の基礎体力作り**  
**基礎学力 + 学習習慣**

### 第2期（夏休み） 苦手科目・分野を克服 + 基礎学力徹底

約40日の夏休みに“どれくらい勉強できたか”で受験結果は決まる！ 理・社をペースメーカーに

### 第3期（9月～12月） 基礎が固まったら、応用問題

・共通テスト過去問演習 センター試験は良問ばかりだと知れ。センター過去問が出来て初めて受験は成功する。

・推薦入試等で進路先が決まる人が出てくるが、“他人は他人、自分は自分”

焦らないように（無理？）しっかりと自分のペースで勉強しよう。

### 第4期（冬休み～受験）

過去問等に当たって、志望校対策を立てる

\*この時期には、新しいことはしない



# 57 模試の判定について

河合塾全統模試を例に

× 生徒のイメージ

○ 実際

合格可能性

A	判定
B	判定
C	判定
D	判定
E	判定

A	判定
B	判定
C	判定
D	判定
E	判定

80% ↑

65% ↑

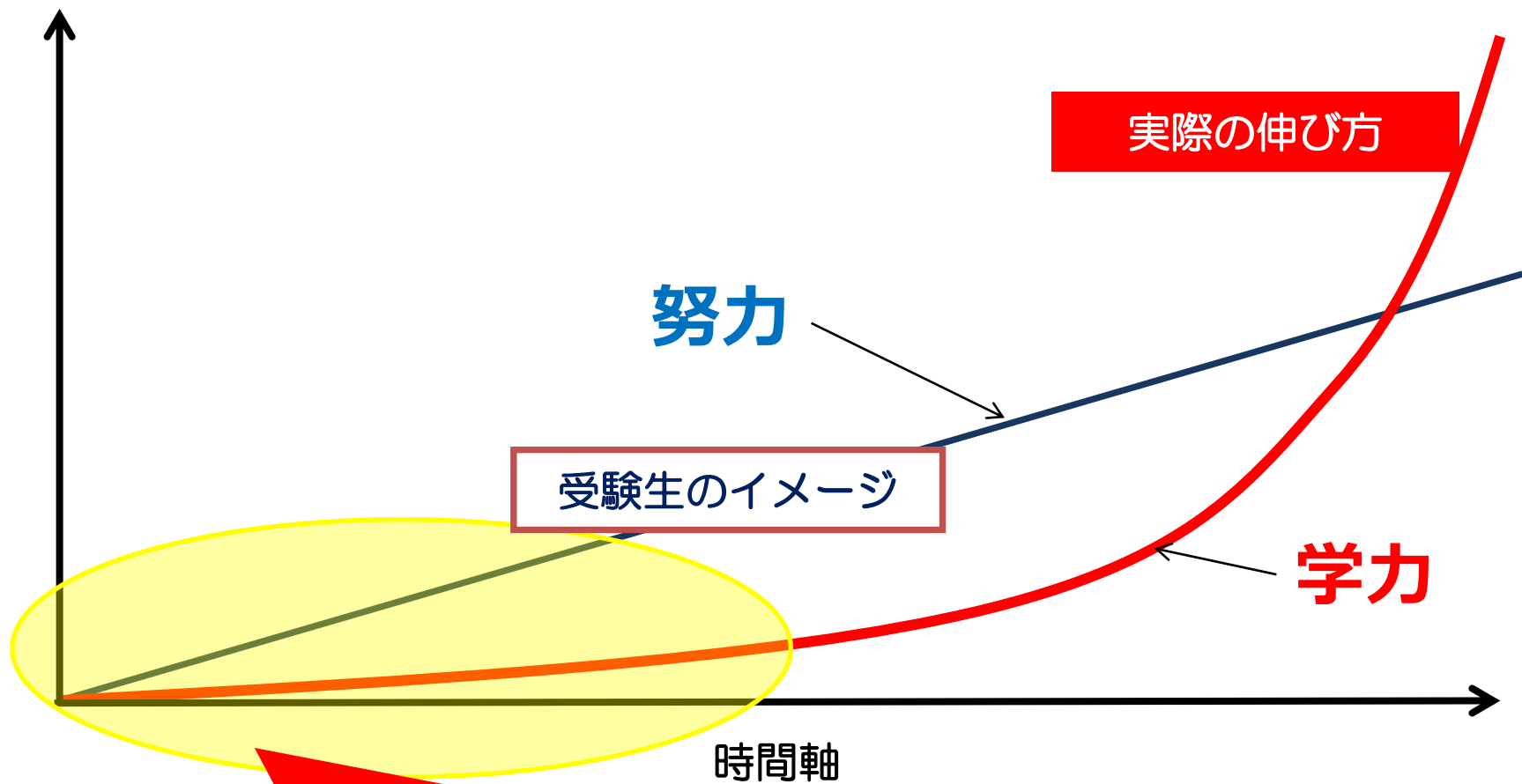
50% ↑

35% ↑

20% ↓

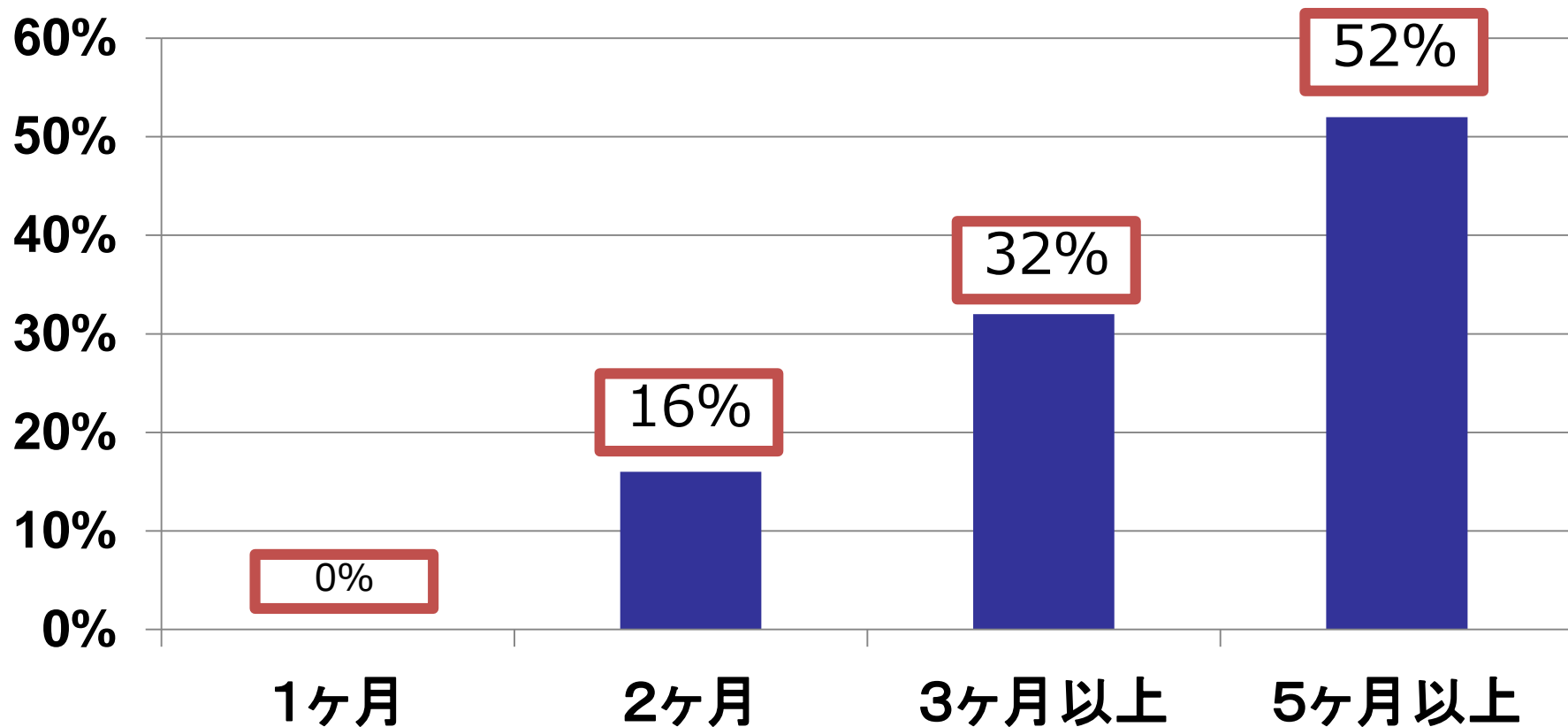
- 模試判定のイメージは、一般的には左のように、A～E判定が同じ人数と思いがちですが、実際には、河合塾全統模試では、概ね6割がE判定です。D判定は、その大学に向けて、十分戦える力がついてきた証です。

## 58 学力と努力の関係



ここであきらめずに粘ってほしい！  
すぐに結果は出ないが継続すれば  
必ず結果がついてくる

## 59 成績が伸びるまでにかかった時間



※卒業生へのアンケート調査結果

これから学力が**伸びる**かどうかは、今の学習にかかっている！

## 60 先輩の失敗から学ぶ

### 現役合格 **できなかつた**先輩たちが上げた**失敗の理由**

1位	苦手科目をそのままにしておいた。	76%
2位	日によって勉強時間にムラがあった。	60%
3位	高校の教科書を軽視して、基礎・基本が身につけていなかった。	49%
4位	「ながら勉強」で集中力が足りなかった。	46%
5位	「何とかなるさ」と入試を甘く見ていた。	46%

### 現役合格 **した**人に聞いた「入試対策で最初にしたこと」

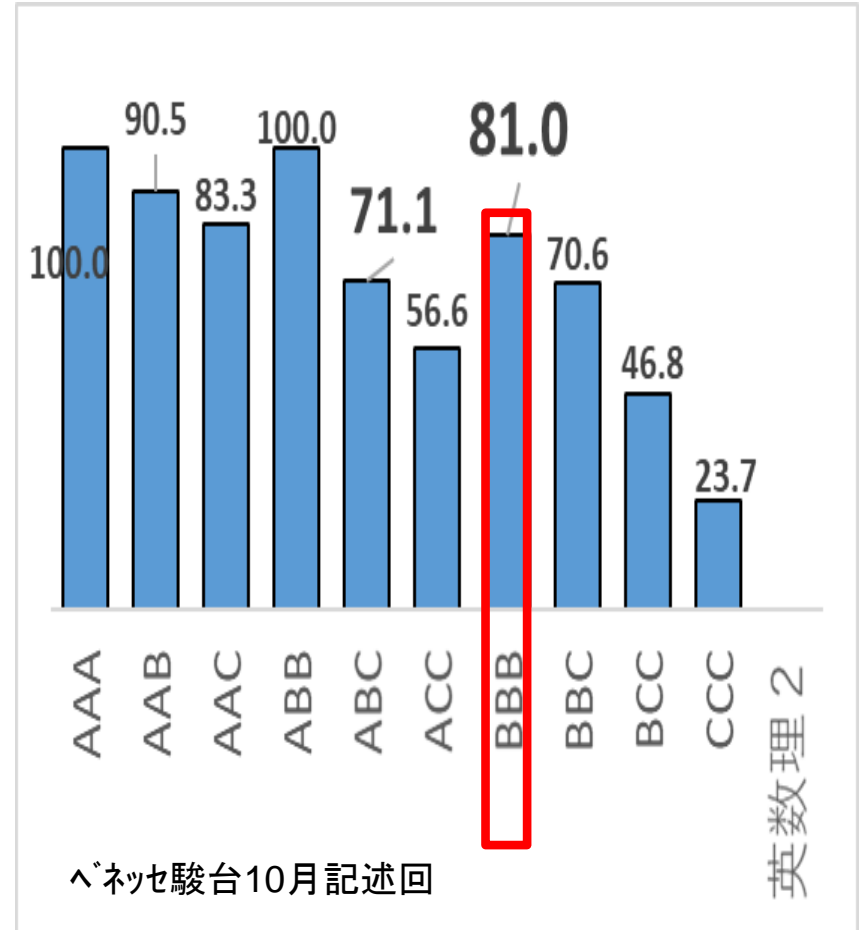
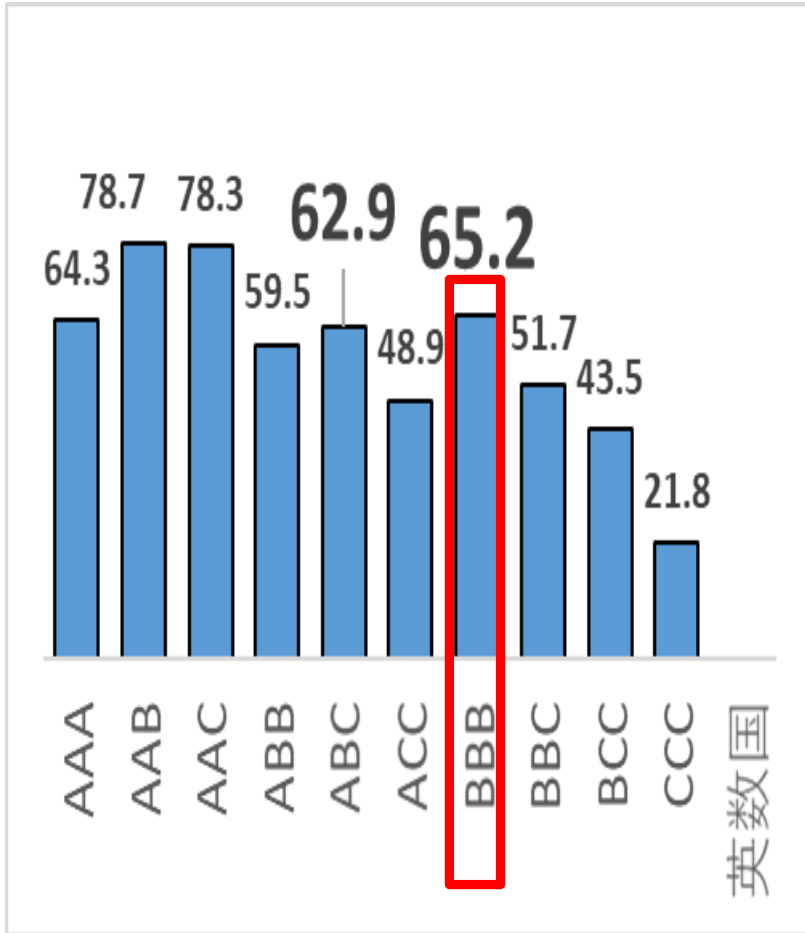
苦手科目に取り組む 48.7%	履修済分野の 復習 28.0%	得意 科目 16%	入試 問題 7.3%
--------------------	-----------------------	-----------------	------------------

# 61 成績別合格パターン

苦手科目を極力upさせる

大阪大・文系 英数国

大阪大・理系 英数理2



A:得意 B:ふつう C:苦手

## 62 志望校合格のために「習慣」を身につける

成功した先輩は、「メリハリ」と「計画化」によってうまく時間を使っている。

### 「ムダ時間」の9個のチェック

- ① 一つが終わってから、次に何をするか考える
- ② 気分転換として、時間を決めずに休憩する
- ③ 机の上が散らかっている。
- ④ 授業ノートが整理できていない
- ⑤ LINE着信があったらすぐに読む
- ⑥ 『ながら』勉強をする（音楽・動画・食事）
- ⑦ 睡眠時間を6時間確保できていない。
- ⑧ 見逃せないテレビ番組を、その時間帯に見る
- ⑨ 休日に昼まで寝る。

### 成功した先輩の実践例

- ・起床時間、就寝時間、勉強開始時間、食事の時間を決めた。自分一人では守りにくいので、家族にも協力してもらった。
- ・ダラダラ時間をかけるのではなく、休憩をはさみながら集中して取り組むように心掛けた。
- ・勉強する時に、周りに勉強道具以外をおかないようにする。スマホを机に置かない。
- ・一週間ごとのスケジュールをノートに作成。毎日、次の日勉強する教科とどのテキストをどこまでやるかを具体的に書き込んでそれを見ながら勉強した。初めは面倒でも、慣れると自分が何をどこまでやっているのかわかるので、焦らなくなった。
- ・通学や休憩時間のようなスキマ時間をうまく使った。

## 63 志望校合格に向けて

### ■現在の入試状況

**競争緩和・易化傾向 →→→ チャンス拡大**

■受験人口減少・現役中心

■志願者数減少→→合格者数増加 →→競争緩和→→難易度低下

国公立大：国公立大志願者減少傾向続く

後期試験だけではなく、前期試験でも欠席率増加

私大専願者の共通テスト離れ

低倍率入試

私立大：倍率だけではなく、難易度の低下

難関大を含め、入りやすい状況継続

◇安易な選択をせずに、最後まで粘り続けることが大事

◇科目を絞らず、地道な学習を継続できれば、  
大飛躍もありうる

64 memo

---